

第六章 順天郷大學韓國母子保健 Center 各種統計

1. 産科，小兒科 臨床統計

1985年7月1日～1987年4月30日間統計は別冊として報告書の裏面に添付。

2. 妊婦登録及分娩現況(1985.7.1～1987.4.30)(1年10個月)

妊婦總登録數：4,710件

分娩數：3,013件

3. 育児指導會(1985.7.1～1987.4.30)(1年10個月)

育児指導總數：9,870名

豫防接種總數：15,175名

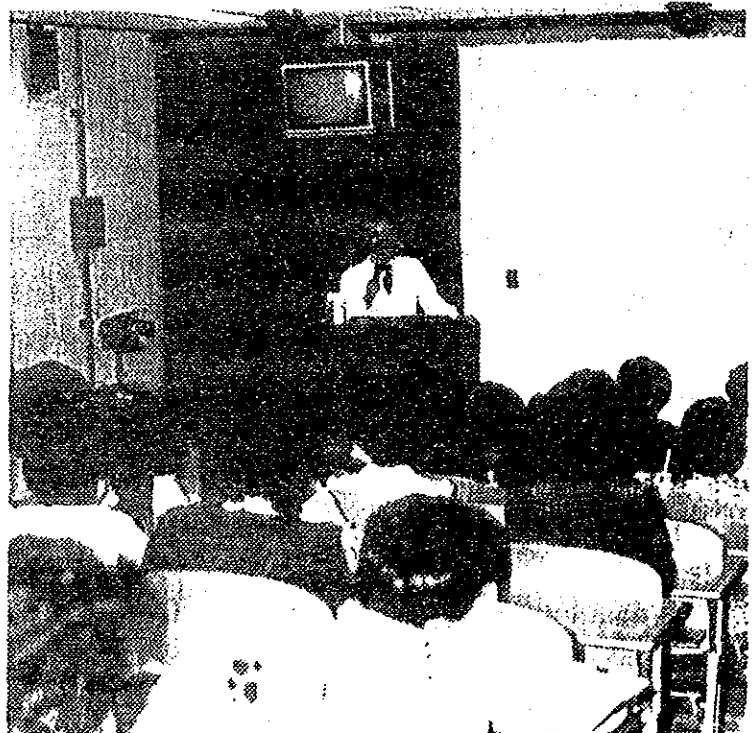
4. 母親教室(1985.8.7～1987.4.30)

毎週水曜日に開催し總受講人員及教科目は下記の通りである。

1) 總受講人員：1,569名

2) 教科目：

- ① 妊娠の生理
- ② 妊娠中異常
- ③ 妊産婦營養
- ④ 出産準備及分娩
- ⑤ 産褥期管理
- ⑥ 小兒營養
- ⑦ 營養食實習
- ⑧ 豫防接種
- ⑨ 病院案内及見學



5. 各種母子保健教育

① 保健社會部主管一線母子保健Center巡回教育

① - 1. 第一次 巡回教育(1984.3.16 ~ 3.19)

京畿道, 江原道, 忠清南道

講 師: 所長 教授 俞 勳

① - 2. 第二次 巡回教育(1985.9.5 ~ 9.8)

全羅南道, 全羅北道

講 師: 所長 教授 俞 勳

① - 3. 第三次 巡回教育(1987.3.27)

京畿道 連川郡 巡回教育

講 師: 所長 教授 俞 勳

② 保健社會部主管一線母子保健要員集合教育

② - 1. 日時: 1985年11月23日

場所: 順天鄉大學韓國母子保健Center

人員: 42名

講師: 保健社會部 家族保健課長

韓國人口保健研究院母子保健擔當官

順天鄉大學韓國母子保健Center

教 授 俞 勳

教 授 方 堉

助教授 李 東 煥

②- 2. 日 時：1986年 2月 13日

場 所：順天鄉大學韓國母子保健Center

對象人員：京畿道地區母子保健Center助產員 17名

講 師：所長 教授 俞 勳

③ 保健社會部 家族計劃協會主管 妊產婦教育

日 時：1987年 4月 14日

場 所：韓國教會百周年紀念館

對象人員：一般妊婦 及 可妊婦 250名

講 師：所長 教授 俞 勳

④ SAESDAE 育英會主管 豫備夫婦教育

④- 1. 第一次 教育

日時：1985年 9月 17日

場所：順天鄉大學韓國母子保健Center

人員：130名

講師：所長 教 授 俞 勳

副教授 李 東 煥

④- 2. 第二次 教育

日時：1986年 1月 30日

場所：順天鄉大學韓國母子保健Center

人員：110名

講師：助教授 李 任 順

副教授 李 東 煥

④ - 3. 第三次 教育

日時：1987年 4月 28日

場所：SAESEDAE 育英會講堂

人員：115名

講師：所長 教授 俞 勳

④ - 4. 第四次 教育

日時：1987年 5月 7日

場所：順天鄉大學韓國母子保健 Center

人員：35名

講師：副教授 李 東 煥

第七章 政府母子保健事業への參與

韓國政府は1960年代から人口政策に重點をおき家族計劃事業に全力を盡した結果人口増加率を數的に大幅減少に成功し西紀2023年までには人口増加率0%（停止人口）を目標にとって保健政策を推進させている。かかる目標は一家庭2名の子供政策から一家庭1名の子供政策への大變換が必要となると共に、この1名の子供を誰かは責任をもって精神的、肉體的に健康な人的資源に作り上げなければならないと云う二つの大きな問題點をにやうことになった。特に嬰幼兒死亡率の高植は母子保健事業の絶對的必要性を痛感させるものであり、政府は全國92個所に一線母子保健Centerを建設して事業を始めることになった（別添圖參照）。

1. 母子保健基本政策方向：政府が提示している基本方向は；

① 母子保健法の再整備

1986年4月8日母子保健法改正法律案を國會で通過させることに依り母子保健事業活性化，特に地域母子保健事業に必要な民間機關の本事業への參與根據を完備させた。

② 母子保健登録管理事業の強化

（母子保健手帖を含む）

③ 一線母子保健Centerの運営活性化；

92個所の一線母子保健Centerの活性化をはかる爲全國を13個の地域化事業圏に分割する一方（別添圖參照）1986年5月21日その地域内一

線母子保健 Center を指導援助する爲その圏内の民間医療機関（私立大
學病院 5， 医療法人 6 ） 11 個病院を地域母子保健綜合 Center に指定し，
始めて官民協同母子保健事業が出帆した。

2. 順天郷大學韓國母子保健 Center の役割
（全國地域母子保健綜合 Center 協義會を中心に）

當 Center に對する日韓技術協力の目的が“順天郷大學韓國母子保健 Cen-
ter を強化させる事に依り韓國母子保健事業發展に寄與する”と云う大前
提である點からみても次の如く韓國母子保健事業に當 Center が深く關與
する様になった事は韓國母子保健事業發展は勿論，日韓技術協力精神にも
かなり事と思料される所である。

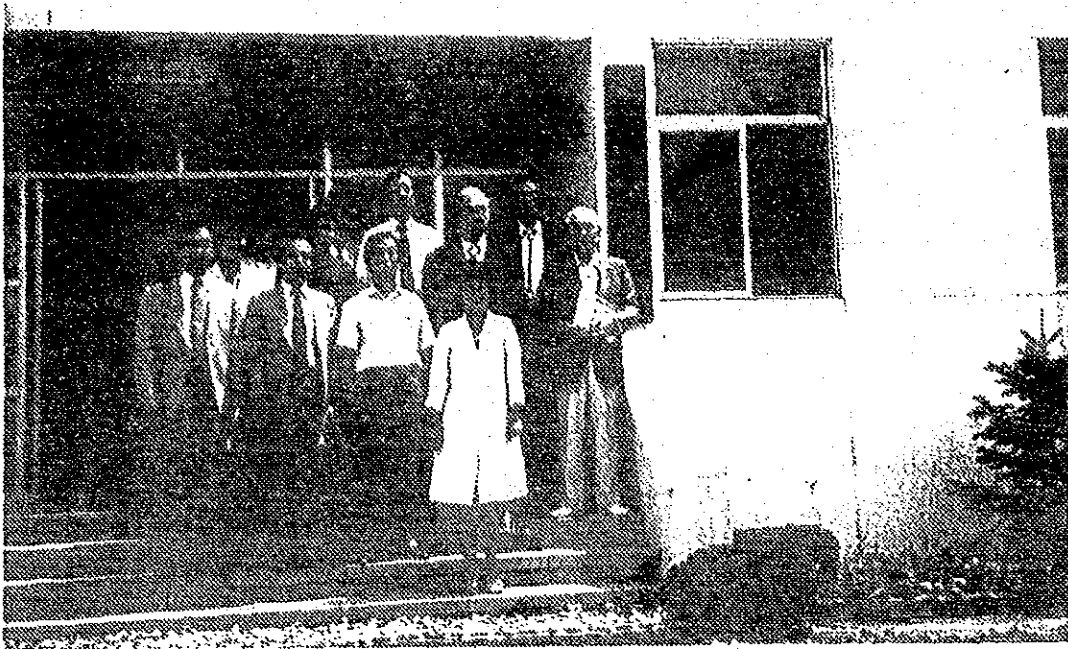
2 - ① 日本専門家第一線母子保健 Center 巡回

地域母子保健事業の重要性にかんがみ 1986 年 6 月 23 日來韓した日
本専門家が直接地方の第一線母子保健 Center を訪問し 地域母子保
健事業の現況，事業方法等につき責任者から説明を聞き順天郷大學
韓國母子保健 Center の地域母子保健事業計劃樹立に参考になる様
指導をした。

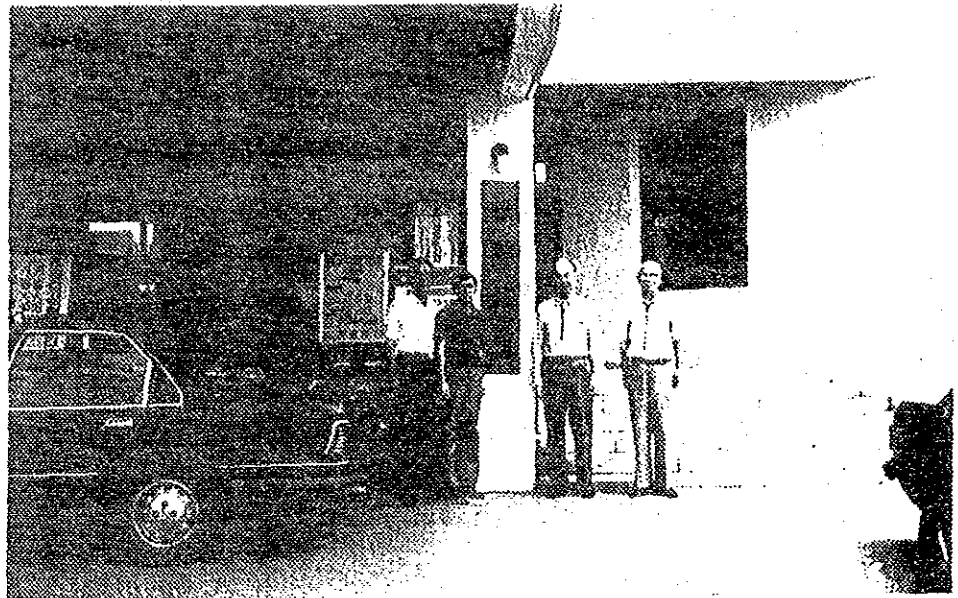
日 時： 1986 年 6 月 26 日

現 地： 忠清北道 報恩郡 郡廳及母子保健 Center

參加者： 慶應義塾大學醫學部	教 授 飯塚理八
日本母性保護醫協會	會 長 森山 豊
愛育會母子綜合醫療 Center	博 士 青木菊磨
順天郷大學母子保健 Center	所 長 俞 勳
駐韓日本大使館	參事官 下村正之



報恩郡母子保健センター訪問



2 - ② 地域母子保健事業及當 Center 現況に対する説明會：

日本母性保護醫協會森山豊會長からの御鄭重な招請に依り當 Center 現況及當 Center が關與する韓國地域母子保健事業に対する説明會が日本で行われた。

日 時：1986年8月5日

場 所：New OTANI HOTEL, ToKyo

主 催：日本母性保護醫協會

参加者：協會理事及幹事

説明者：順天郷大學韓國母子保健 Center 所長 俞 勳

森山豊會長の開會辭，役員紹介後，當 Center の現況及特に當 Center が關與する地域母子保健事業につき約 80 分間説明を行った。

説明後自由討論では特に地域事業の重要性について日本での經驗等を話して下さった役員が多く本事業を推進するにあたり非常な收穫であつた。

又日韓技術協力の本精神がこの様に國家的事業への發展であると云う見地から今後とも協力を盡力すると云はれた森山豊會長の閉會辭は當 Center としても非常に有難くかつやりがいのある事業であると感じた。

1986年8月27日11個所の地域母子保健綜合 Center の責任者が 會同して統一された教育及事業の推進をはかる爲全國母子保健綜合 Center 協議會を構成すると共に當 Center 所長が會長に就任し。協議會の顧問として韓國人口母子保健研究院金貞泰博士，順天郷大學方淑教授が就任した。

2 - ③ Republic of Bangladesh 保健家族計劃省次官補一同來訪

1986年11月14日地域母子保健事業に關心を特っている 下記人士一行5名が當 Center を訪問した。

Mr. Amiul Islam(保健家族計画省次官補)

Mr. Rubal Anin(保健家族計画省課長)

Mr. Mo Azizul Karim(保健家族計画省課長)

Dr. Nomena Khatun(MCH/FP)

Mrs. Faria Pgyn(随行員)

上記一行は特に地域母子保健事業に多大な関心を示し、地域母子保健事業部長方淑教授及当時日本母子保健専門家として當Centerに派遣中の日本国立公衆衛生院の高野陽博士と長時間地域母子保健事業について討議した。



1) 順天郷大學 韓國母子保健 Center :

- ① 京畿道内 11 個所の一線 M.C.H.Center に對する地域母子保健綜合 Center の役割。
- ② 全國地域母子保健綜合 Center 協議會の會長役割。
- ③ 全國母子保健研究所としての役割。

2) 順天郷天安病院地域母子保健綜合 Center :

忠清南道一部 5 個所の一線 M.C.H.Center に對する綜合 Center と
しての役割。

3) 順天郷龜尾病院地域母子保健綜合 Center :

慶尙北道一部 6 個所の一線 M.C.H.Center に對する綜合 Center と
しての役割。

4) 大田乙支病院地域母子保健綜合 Center :

忠清南道一部 3 個所の一線 M.C.H.Center に對する綜合 Center と
しての役割。

5) 全州基督病院地域母子保健綜合 Center :

全羅北道 9 個所の一線 M.C.H.Center に對する綜合 Center として
の役割。

6) 光州基督病院地域母子保健綜合 Center :

全羅南道一部 10 個所の一線 M.C.H.Center に對する綜合 Center と
しての役割。

7) 春川翰林大學病院地域母子保健綜合 Center :

江原道一部 8 個所の一線 M.C.H.Center に對する綜合 Center としての役割。

8) 延世大學原州醫大病院地域母子保健綜合 Center :

江原道一部 6 個所の一線 M.C.H.Center に對する綜合 Center としての役割。

9) 清州 Seoul 病院地域母子保健綜合 Center :

忠清北道一部 9 個所の一線 M.C.H.Center に對する綜合 Center としての役割。

10) 安東聖蘇病院地域母子保健綜合 Center :

慶尙北道一部 8 個所の一線 M.C.H.Center に對する綜合 Center としての役割。

11) 釜山日新基督病院地域母子保健綜合 Center :

慶尙南道一部 7 個所の一線 M.C.H.Center に對する綜合 Center としての役割。

上記 11 個所の地域母子保健 Center は 1987 年 3 月 1 日より事業を開始することになるが約 60 % の病院が現在 Center 開設準備中であるので 1987 年度は一次的に管轄内一線 M.C.H.Center の要員教育 (醫師, 助産員, 看護員) に重点をおき年次的に統一された本格的母子保健事業を推進させる計劃である。一方順天郷大學韓國母子保健 Center の基礎研究の一部である“先天性代謝異常

Screening Test” に對して 11 個の綜合 Center が合同で參與することにし一次的に各自管轄内の一線 M.C.H.Center を含んで全國的に約 30,000 名を對象として Filter paper が送られ全部の檢体を當 Center に送らせて検査をし合同研究をすすめている。

3. 綜合 Center 協議會の事業計劃：

政府母子保健政策にもとづいて統一された母子保健事業を全國的に遂行するための計劃、指導、教育及周産期醫療傳達体系の確立をはかると共に各自管轄地域内でその地域の母子保健事業を完成すると云う目標のもとに次の如く實踐する。

- ① 管内一線 M.C.H.Center 要員に對する現地教育集合教育を實施すると共に現地住民特に可妊婦を中心としたその家族に對する教育弘報事業。
- ② 管内一線 M.C.H.Center を中心とする周産期醫療網の確立。
- ③ 各種母子保健統計値作成に對する協力。
- ④ 當 Center 母子保健基礎研究に對する共同參與。

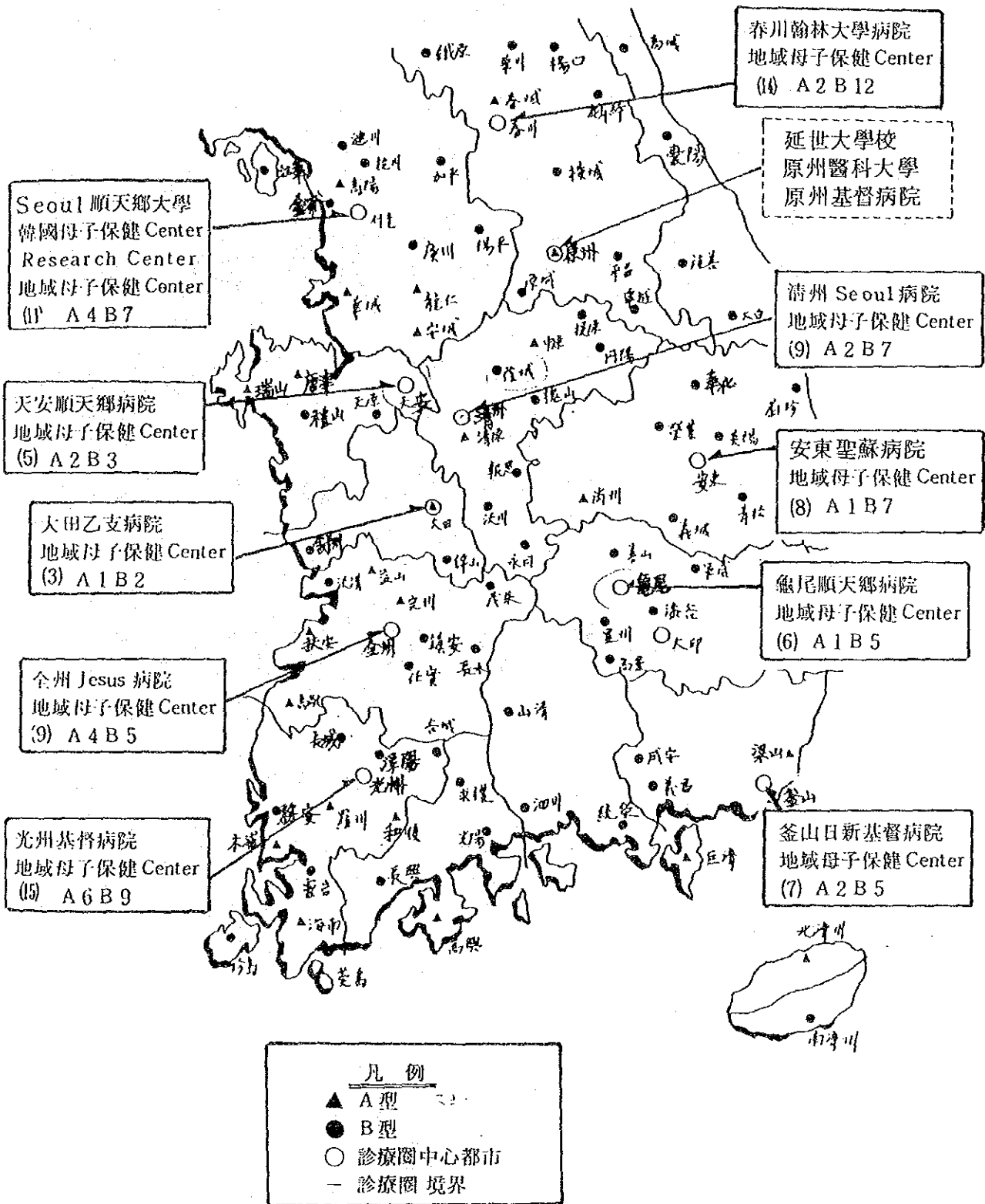
以上の報告は 1984 年 8 月 1 日から 1987 年 4 月 31 日間の概要であるが本 Center が竣工した 1985 年 7 月 1 日から本格的な事業が始まったので期間は 1 年 10 個月間である。

前記の如く現在韓國に於ける母子保健事業は初期事業段階に先進國型事業まで含めた形で事業を開始したと云う點でその特異性があるがこの形で官民

共同事業が成功すれば成功期間が短縮されると云う長点がある一方、失敗すれば原点にもどる可能性もあると云う点から今後の政策決定から事業推進にいたるまで事業に關與する當 Center を始めとして各地域母子保健綜合 Center，及び政府の格別な協力と理解が大變重要な點であると思われる。この様な見地からみると日本の本 Center 事業に對する技術協力は韓國母子保健事業定着に非常に重要な役割をしていることが理解されると共にこの點深く感謝している所以でもある。

4. 診療圈別母子保健Center 及 地域母子保健Center 分布圖

(The Distribution Chart of Catchment Areas)



附 錄

各種臨床統計

1. 產婦人科學教室

2. 小兒科學教室

1. 產婦人科臨床統計

1. 産婦人科 臨床統計 :

Year	:	85*	86	87**	total
Total No. of patient	:	11,819	21,151	7,774	40,744
1. total no. of OB. patient	:	6,982	11,988	4,706	23,676
inpatient department	:	883	1,576	560	3,019
outpatient department	:	6,099	10,412	4,146	20,657
2. total no. of GY. patient	:	4,837	9,163	3,068	17,068
inpatient department	:	295	588	245	1,128
outpatient department	:	4,542	8,575	2,823	15,940

* ; from Jul. to Dec.

** ; from Jan. to Apr.

TOTAL No. of PATIENT : 11,819 (1985.7 - 1985.12)

1. Total No. of OB. patient : 6,982
inpatient department : 883
outpatient department : 6,099

2. Total No. of GY. patient : 4,837
inpatient department : 295
outpatient department : 4,542

INPATIENT DEPARTMENT

Total no. of patient : 1,178
Obstetrical patient : 883
Gynecological patient: 295

OSTETRICAL WARD

Total No. of OB. inpatient : 883
Total No. of vaginal delivery : 672
Total No. of Cesarean section : 211

1. No. of delivery according to various method.

method	No.	%
650 spontaneous vaginal delivery	653	73.9
5-74 Cesarean section	211	23.9
5-728 vacuum extraction	14	1.6
5-725 breech extraction	5	0.6
total	883	100.0

2. Age distribution

	No.	%
under 20	2	0.3
21 - 25	205	23.2
26 - 30	561	63.5
31 - 35	90	10.2
36 or more	25	2.8
total	883	100.0

3. Parity distribution	No.	%
0	544	61.6
1	294	33.3
2	35	4.0
3 or more	10	1.1
total	883	100.0

4. weight distribution of newborn babies (gm).	No.	%
under 2,000	16	1.8
2,000 - 2,499	46	5.2
2,500 - 2,999	163	18.5
3,000 - 3,499	470	53.2
3,500 - 3,999	155	17.6
4,000 or more	33	3.7
total	883	100.0

5. number of nuchal cord	No.	%
1	139	77.6
2	29	16.2
3	11	6.2
4 or more	0	0.0
total	179	100.0

6. Type of Cesarean section	No.	%
5-741 lower segment transverse	207	98.1
5-740 classic	0	0.0
5-748 inverted T type	4	1.9
total	211	100.0

7. Indications of Cesarean section	No.	%
654.2, previous Cesarean section	50	23.7
652 malposition and malpresentation	40	18.9
653.4 cephalopelvic disproportion	62	29.4
656.3 fetal distress	17	8.1
641.1 placenta previa	5	2.4
641.2 abruptio placenta	5	2.4
642.4 pregnancy induced hypertension	8	3.8
662 prolonged labor	13	6.2
651.0 multiple pregnancy	9	4.3
645 postterm pregnancy	1	0.4
659.5 elderly primigravida	1	0.4
total	211	100.0

8. Coincidental operations in obstetrical patient.	No.	%
5-664 bilateral tubal ligation	53	33.8
5-470 incidental appendectomy	98	62.4
5-681 myomectomy	6	3.8
total	157	100.0

9. Maternal complications	No.	%
648.2 anemia	94	81.0
596.4 atony of bladder	12	10.4
674.3 complications of obstetric surgical wound	5	4.3
664.3 4th degree of perineal laceration	5	4.3
total	116	100.0

GYNECOLOGICAL WARD PATIENT

Total No. of inpatient : 295

1. Disease of inpatient		No.	%
218	uterine myoma	53	18.1
633	ectopic pregnancy	20	6.8
614.0	acute pelvic inflammatory disease	49	15.6
614.1	chronic pelvic inflammatory disease	44	15.0
620	ovarian cyst	22	7.5
634	incomplete abortion	14	4.7
632	missed abortion	8	2.8
640.0	threatened abortion	14	4.7
590.1	acute pyelonephritis	10	3.4
622.5	incompetent internal os of cervix	3	1.0
630	hydatidiform mole	4	1.3
626.8	dysfunctional uterine bleeding	4	1.3
617.0	adenomyosis	3	1.0
620.8	ovarian bleeding	5	1.6
628.2	infertility of tubal origin	3	1.0
180	cervical carcinoma	13	4.4
616.3	abscess of Bartholin's gland	5	1.6
	perineal abscess	2	0.7
	pelvic mass	18	6.2
	malignant mixed mesodermal tumor	1	0.3
total		295	100.0

2. Age distribution		No.	%
under age 20		4	1.4
21 - 25		68	23.1
26 - 30		74	25.1
31 - 35		44	14.9
36 - 40		37	12.5
41 - 45		31	10.5
45 or more		37	12.5
total		295	100.0

3. Parity distribution		No.	%
0		74	25.1
1		52	17.6
2		62	21.0
3		47	16.0
4		28	9.5
5 or more		32	10.8
total		295	100.0

4. Treatment of gynecological inpatient		No.	%
9-12	conservative treatment	101	34.2
5-680	total abdominal hysterectomy	60	20.3
5-690	dilatation & evacuation	33	11.2
5-653	unilateral salpingoophorectomy	17	5.8
5-674	McDonald operation	2	0.7
5-651	ovarian wedge resection	7	2.5
5-650	ovarian cystectomy	15	5.1
5-651	ovarian cyst enucleation	6	2.0
5-681	myomectomy	2	0.7
5-705	anterioposterior colporrhaphy	5	1.7
5-684	vaginal total hysterectomy		
	with anterioposterior colporrhaphy	3	1.0
5-671	conization	4	1.4
5-544	adhesiolysis	3	1.0
5-685	radical hysterectomy with pelvic lymphadenectomy	4	1.4
5-666	tuboplasty	3	1.0
5-711	enucleation of Bartholin's cyst	3	1.0
5-738	secondary closure of episiotomy wound	1	0.3
5-681	uterine cornual wedge resection	3	1.0
5-682	subtotal hysterectomy	3	1.0
5-665	fimbriectomy	1	0.3
5-662	salpingectomy	19	6.4
5-690	suction and curettage	4	1.4
total		295	100.0

5. Coincidental operations of gynecologic inpatient		No.	%
5-470	incidental appendectomy	65	35.5
5-653	unilateral salpingoophorectomy	47	25.6
5-651	ovarian wedge resection	19	10.4
5-661	unilateral salpingectomy	5	2.8
5-543	omentectomy	2	1.1
5-544	adhesiolysis	19	10.4
5-704	posterior colporrhapy	14	7.6
5-680	fimbriectomy	4	2.2
5-669	unilateral tubal ligation	6	3.3
5-659	ovarian cyst enucleation	2	1.1
total		183	100.0

OUTPATIENT DEPARTMENT

Total No. of OPD patients : 10,641
obstetrical patients : 6,099
gynecological patients : 4,542

1. Disease distribution of obstetrical outpatients		No.	%
650	antenatal care	4,832	79.40
650	postpartum care	1,048	17.16
642.4	pregnancy induced hypertension	24	0.38
643	hyperemesis gravidarum	31	0.46
652	malposition and malpresentation	79	1.34
651	multiple pregnancy	6	0.09
641.1	placenta previa	13	0.17
656.4	fetal death in utero	3	0.05
644.1	preterm labor	53	0.86
total		6,099	100.00

2. Age distribution		No.	%
	under 20	55	0.9
	21 - 25	1,635	26.8
	26 - 30	3,459	56.8
	31 - 35	793	13.0
	36 - 40	111	1.8
	41 - 45	27	0.4
	46 or more	19	0.3
total		6,099	100.0

3. Parity distribution		No.	%
	0	3,513	57.6
	1	1,905	31.2
	2	484	7.9
	3	125	2.1
	4	50	0.8
	5 or more	22	0.4
total		6,099	100.0

4. Gestational weeks at first visit in OB. patient.

weeks	No.	%
under 6	170	5.0
7 - 12	258	7.5
13 - 16	170	4.9
17 - 20	289	8.4
21 - 24	199	5.8
25 - 28	283	8.3
29 - 32	278	8.1
33 - 36	595	17.3
37 - 40	1,024	29.9
above 40	164	4.8
total	3,430	100.0

Total No. of gynecological outpatient : 4,542

1. Disease distributions of gynecological outpatient

	No.	%
616.1 vaginitis and vulvovaginitis	891	19.6
131.1 trichomoniasis	65	1.4
112.1 moniliasis	37	0.8
078.1 condyloma accuminata	12	0.3
615.3 abscess of Bartholin's gland	15	0.3
616.9 cervicitis and endocervicitis	693	15.2
622.7 cervical polyp	45	1.0
622.0 cervical erosion	64	1.4
180 malignancy of cervix	16	0.4
621.6 malposition of uterus	7	0.2
218 uterine myoma	232	5.1
617 endometriosis	30	0.7
182 malignancy of uterus	1	0.1
614.0 acute pelvic inflammatory disease	154	3.3
614.1 chronic pelvic inflammatory disease	403	8.9
620 ovarian cyst	65	1.4
256 ovarian dysfunction	16	0.4
194.0 adnexal mass	45	0.9
633 ectopic pregnancy	8	0.2
630 hydatidiform mole	30	0.7
599.0 urinary tract infection	12	0.3
626.8 dysfunctional uterine bleeding	184	4.1
627 menopausal and postmenopausal disorders	34	0.7
628 infertility	45	1.0
626.0 amenorrhea	174	3.8
family planning	251	5.5
for cancer survey	524	11.5
others	458	10.1
total	4,542	100.0

2. Age distribution	No.	%
under 20	98	2.2
21 - 25	813	17.9
26 - 30	1,057	23.3
31 - 35	713	15.7
36 - 40	631	13.9
41 - 45	642	14.1
above 45	588	12.9
total	4,542	100.0

3. Parity distribution	No.	%
0	1,032	22.7
1	1,100	24.2
2	1,154	25.4
3	744	16.5
4	266	5.8
5 or more	246	5.4
total	4,542	100.0

Ultrasonogram	No.	%
650 normal pregnancy	110	32.3
651 multiple pregnancy	6	2.0
656.4 intrauterine fetal death	2	0.6
641.1 placenta previa	3	0.9
630 hydatidiform mole	5	1.4
218 myoma uteri	46	13.5
620 ovarian cyst	38	11.2
632 missed abortion	12	3.5
183 adnexal mass	15	4.4
215.6 pelvic mass	27	7.9
634 incomplete abortion	13	3.8
640.4 threatened abortion	14	4.1
633 ectopic pregnancy	12	3.5
614 acute salpingitis and oophoritis	31	9.1
626.8 dysfunctional uterine bleeding	5	1.5
654.0 double uterus	1	0.3
total	340	100.0

Pap. smear	No.	%
class I	882	74.4
class II	260	21.9
class III	28	2.4
class IV	8	0.7
class V	7	0.6
total	1,185	100.0

TOTAL No. of PATIENT ; 21,151 (1986.1 - 1986.12)

1. total no. of OB. patient : 11,988
inpatient department : 1,576
outpatient department : 10,412

2. total no. of GY. patient : 9,163
inpatient department : 588
outpatient department : 8,575

INPATIENT DEPARTMENT

total no. of patient : 2,164
obstetrical patient : 1,576
gynecological patient: 588

OSTETRICAL WARD

Total No. of OB. inpatient : 1,576
Total No. of vaginal delivery : 1,226
Total No. of Cesarean section : 350

1.No. of delivery according to various method.

method	No.	%
650 spontaneous vaginal delivery	1,144	72.6
5-74 Cesarean section	350	22.1
5-728 vacuum extraction	61	3.9
5-725 breech extraction	21	1.4
total	1,576	100.0

2. Age distribution

	No.	%
under 20	7	0.44
21 - 25	342	21.70
26 - 30	985	62.50
31 - 35	220	13.96
36 or more	22	1.40
total	1,576	100.00

3. Parity distribution	No.	%
0	977	61.99
1	522	33.12
2	67	4.25
3 or more	10	0.64
total	1,576	100.00

4. weight distribution of newborn babies (gm)	No.	%
under 2,000	41	2.60
2,000 - 2,499	67	4.25
2,500 - 2,999	457	29.00
3,000 - 3,499	660	41.88
3,500 - 3,999	304	19.29
4,000 or more	47	2.98
total	1,576	100.00

5. number of nuchal cord	No.	%
1	206	87.66
2	25	10.64
3	4	1.70
4 or more	0	0.00
total	235	100.00

6. Type of Cesarean section	No.	%
5-741 lower segment transverse	345	98.57
5-740 classic	2	0.57
5-748 inverted T type	3	0.86
total	350	100.00

7. Indications of Cesarean section		No.	%
654.2	previous Cesarean section	128	36.89
652.2	breech presentation	47	13.54
652	malpresentation and malposition	6	1.73
653.4	cephalopelvic disproportion	82	23.63
656.3	fetal distress	16	4.61
641.1	placenta previa	13	3.80
641.2	abruptio placenta	4	1.15
642.4	pregnancy induced hypertension	7	2.01
651.0	multiple pregnancy	5	1.44
662	prolonged labor	15	4.32
752.2	double vagina	1	0.29
752.3	bicornuate uterus	1	0.29
656.4	fetal death in utero	2	0.58
620	ovarian cyst	1	0.29
659.5	elderly primigravida	6	1.73
645	postterm pregnancy	8	2.30
	wanted	5	1.44
total		347	100.00

8. Coincidental operations in obstetrical patient.		No.	%
5-664	bilateral tubal ligation	107	38.76
5-470	incidental appendectomy	155	56.16
5-681	myomectomy	12	4.35
5-651	ovarian cyst enucleation	2	0.73
total		276	100.00

9. Maternal complications		No.	%
648.2	anemia	145	54.92
596.4	atony of bladder	58	21.97
674.3	complications of obstetric surgical wound	17	6.44
664.3	4th degree of perineal laceration	42	15.91
658.4	infection of amniotic cavity	1	0.38
595	cystitis	1	0.38
total		264	100.00

GYNECOLOGICAL WARD PATIENT

Total No. of inpatient : 588

1. Disease of inpatient		No.	%
218	uterine myoma	136	23.30
633	ectopic pregnancy	42	7.14
614.0	acute pelvic inflammatory disease	53	9.02
614.1	chronic pelvic inflammatory disease	59	10.03
620	ovarian cyst	48	8.16
634	incomplete abortion	23	3.91
632	missed abortion	23	3.91
640.0	threatened abortion	35	5.80
590.1	acute pyelonephritis	13	2.21
622.5	incompetent internal os of cervix	11	1.87
630	hydatidiform mole	11	1.87
618.1	prolapse of uterus	9	1.53
626.8	dysfunctional uterine bleeding	21	3.57
617.0	adenomyosis	31	5.27
620.8	ovarian bleeding	10	1.70
628.2	infertility of tubal origin	8	1.36
180	cervical carcinoma	26	4.42
618.0	cystocele	3	0.51
618.0	rectocele	8	1.36
616.3	abscess of Bartholin's gland	3	0.51
616.2	cyst of Bartholin's gland	8	1.36
621.8	endometrial cyst	1	0.17
616.4	perineal abscess	1	0.17
789.3	pelvic mass	2	0.34
624.5	hematoma of vulva	1	0.17
619.1	rectovaginal fistula	1	0.17
183	malignant mixed mesodermal tumor of ovary	1	0.17
total		588	100.00

2. Age distribution		No.	%
under age 20		51	8.67
21 - 25		61	10.37
26 - 30		165	28.06
31 - 35		80	13.61
36 - 40		56	9.52
41 - 45		66	11.23
45 or more		109	18.54
total		588	100.00

3. Parity distribution	No.	%
0	169	28.74
1	97	16.49
2	131	22.28
3	86	14.64
4	49	8.33
5 or more	56	9.52
total	588	100.00

4. Gynecologic treatment of inpatient	No.	%
9-12 conservative treatment	207	35.21
5-680 total abdominal hysterectomy	145	24.66
5-690 dilatation & evacuation	55	9.36
5-653 unilateral salpingoophorectomy	40	6.80
5-674 McDonald operation	6	1.02
5-651 ovarian wedge resection	16	2.72
5-650 ovarian cystectomy	15	2.55
5-651 ovarian cyst enucleation	6	1.02
5-681 myomectomy	3	0.51
5-706 anterior colporrhaphy	3	0.51
5-704 posterior colporrhaphy	8	1.36
5-684 vaginal total hysterectomy with anterioposterior colporrhaphy	9	1.53
5-671 conization	7	1.19
5-544 adhesiolysis	13	2.21
5-685 radical hysterectomy with pelvic lymphadenectomy	12	2.04
5-666 tuboplasty	6	1.02
5-711 enucleation of Bartholin's cyst	9	1.53
5-738 secondary closure of episiotomy wound	1	0.17
5-681 uterine cornual wedge resection	1	0.17
5-682 subtotal hysterectomy	2	0.34
5-665 fimbriectomy	2	0.34
5-662 salpingectomy	15	2.55
5-690 suction and curettage	7	1.19
total	588	100.00

5. Coincidental operations of gynecologic inpatient		No.	%
5-470	incidental appendectomy	161	51.12
5-653	unilateral salpingoophorectomy	61	19.36
5-651	ovarian wedge resection	18	5.71
5-661	unilateral salpingectomy	20	6.35
5-543	omentectomy	3	0.95
5-544	adhesiolysis	26	8.25
5-704	posterior colporrhapy	13	4.13
5-680	fimbriectomy	4	1.27
5-669	unilateral tubal ligation	8	2.54
5-659	ovarian cyst enucleation	1	0.32
total		315	100.00

OUTPATIENT DEPARTMENT

Total No. of OPD patients : 18,987
 obstetrical patients : 10,412
 gynecological patient : 8,575

1. Disease distribution of obstetrical outpatients		No.	%
650	antenatal care	7,939	76.25
650	postpartum care	2,294	22.03
642.4	pregnancy induced hypertension	21	0.20
643	hyperemesis gravidarum	33	0.32
652	malpresentation	20	0.19
651	multiple pregnancy	10	0.10
641.1	placenta previa	30	0.29
656.4	fetal death in utero	10	0.10
644.1	preterm labor	15	0.14
	unclassified	40	0.38
total		10,412	100.00

2. Age distribution		No.	%
	under 20	248	2.38
	21 - 25	2902	27.87
	26 - 30	5301	50.91
	31 - 35	1568	15.06
	36 - 40	244	2.35
	41 - 45	93	0.89
	46 or more	56	0.54
total		10,412	100.00

3. Parity distribution		No.	%
	0	5724	54.97
	1	3091	29.69
	2	1057	10.15
	3	264	2.54
	4	178	1.71
	5 or more	98	0.94
total		10,412	100.00

4. Gestational weeks at first visit in OB. patient.

weeks	No.	%
under 6	571	7.39
7 - 12	1024	13.26
13 - 16	652	8.44
17 - 20	628	8.13
21 - 24	757	9.80
25 - 28	585	7.57
29 - 32	774	10.02
33 - 36	1094	14.16
37 - 40	1267	16.40
above 40	373	4.83
total	7725	100.00

Total No. of gynecological outpatient : 8575

1. Disease distributions of gynecological outpatient		No.	%
616.1	vaginitis and vulvovaginitis	1,951	22.75
131.1	trichomoniasis	165	1.92
112.1	moniliasis	117	1.36
078.1	condyloma accuminata	31	0.36
615.3	abscess of Bartholin's gland	33	0.39
616.9	cervicitis and endocervicitis	716	8.35
622.7	cervical polyp	71	0.83
622.0	cervical erosion	181	2.11
621.6	malposition of uterus	32	0.37
218	uterine myoma	352	4.11
617	endometriosis of ovary	41	0.48
182	malignancy of uterus	7	0.08
614.0	acute salpingitis and oophoritis	466	5.44
614.1	chronic salpingitis and oophoritis	652	7.60
620	ovarian cyst	318	3.71
183	malignancy of ovary	19	0.22
256	ovarian dysfunction	92	1.07
194.0	adnexal mass	60	0.70
633	ectopic pregnancy	26	0.31
630	hydatidiform mole	88	1.03
599.0	urinary tract infection	26	0.31
626.8	dysfunctional uterine bleeding	305	3.56
627	menopausal and postmenopausal disorders	165	1.93
626.0	amenorrhea	254	2.96
617.0	adenomyosis	46	0.54
616.2	cyst of Bartholin's gland	7	0.08
233.1	carcinoma in situ	7	0.08
639.2	laceration of fornix	2	0.02
625.3	dysmenorrhea	57	0.67
628.8	infertility	266	3.10
752.3	bicornuate uterus	1	0.01
621.3	endometrial hyperplasia	3	0.03
624.5	hematoma of vulva	1	0.01
228.0	hemangioma of vulva	1	0.01
619.1	rectovaginal fistula	1	0.01
624.4	laceration of vulva	1	0.01
595.0	acute cystitis	58	0.68
618.0	cystocele	4	0.05
618.0	rectocele	8	0.09
614.2	tubo-ovarian abscess	2	0.02
621.0	polyp of endometrium	5	0.06
181	choriocarcinoma	2	0.02
	postoperative follow up	532	6.20
	family planning	145	1.69
	for cancer survey	1,258	14.67
total		8,575	100.00

2. Age distribution	No.	%
under 20	276	3.22
21 - 25	1096	12.78
26 - 30	2119	24.71
31 - 35	1877	21.89
36 - 40	1207	14.08
41 - 45	941	10.97
above 45	1059	12.35
total	8575	100.00

3. Parity distribution	No.	%
0	2349	27.40
1	1892	22.06
2	1939	22.01
3	1215	14.17
4	583	6.80
5 or more	597	6.96
total	8575	100.00

* Ultrasonogram	No.	%
650 normal pregnancy	580	46.59
651 multiple pregnancy	6	0.48
656.4 intrauterine fetal death	7	0.56
641.1 placenta previa	14	1.12
630 hydatidiform mole	11	0.88
218 myoma uteri	261	20.97
620 ovarian cyst	56	4.50
632 missed abortion	19	1.53
183 adnexal mass	20	1.61
215.6 pelvic mass	42	3.37
634 incomplete abortion	10	0.80
640.4 threatened abortion	18	1.45
633 ectopic pregnancy	24	1.93
614 acute salpingitis and oophoritis	35	2.81
626.8 dysfunctional uterine bleeding	6	0.48
654.0 double uterus	2	0.16
total	1245	100.00

Pap. smear	No.	%
class I	1382	72.66
class II	498	26.08
class III	9	0.48
class IV	8	0.42
class V	5	0.26
total	1902	100.00

TOTAL No. of PATIENT : 7,774 (1987.1 - 1987.4)

1. Total no. of OB. patient : 4,706
 outpatient department : 4,146
 inpatient department : 560

2. Total no. of GY. patient : 3,068
 outpatient department : 2,823
 inpatient department : 245

INPATIENT DEPARTMENT

Total no. of patient : 805
Obstetrical patient : 560
Gynecological patient : 245

OSTETRICAL WARD

Total No. of OB. inpatient : 560
Total No. of vaginal delivery : 388
Total No. of Cesarean section : 172

1. No. of delivery according to various method.

method	No.	%
650 spontaneous vaginal delivery	361	64.5
5-74 Cesarean section	172	30.7
5-728 vacuum extraction	26	4.6
5-725 breech extraction	1	0.2
total	560	100.0

2. Age distribution

	No.	%
under 20	6	1.1
21 - 25	99	17.7
26 - 30	400	71.4
31 - 35	41	7.3
36 or more	14	2.5
total	560	100.0

3. Parity distribution	No.	%
0	330	58.9
1	206	36.8
2	23	4.1
3 or more	1	0.2
total	560	100.0

4. weight distribution of newborn babies (gm).	No.	%
under 2,000	10	1.8
2,000 - 2,499	21	3.8
2,500 - 2,999	124	22.1
3,000 - 3,499	269	48.0
3,500 - 3,999	123	22.0
4,000 or more	13	2.3
total	560	100.0

5. number of nuchal cord	No.	%
1	81	74.3
2	28	25.7
3	0	0.0
4 or more	0	0.0
total	109	100.0

6. Type of Cesarean section	No.	%
5-741 lower segment transverse	171	99.4
5-740 classic	0	0.0
5-748 inverted T type	1	0.6
total	172	100.0

7. Indications of Cesarean section		No.	%
654.2	previous Cesarean section	59	34.3
652.2	breech presentation	24	14.0
653.4	cephalopelvic disproportion	42	24.4
656.3	fetal distress	11	6.4
641.1	placenta previa	5	2.9
641.2	abruptio placenta	1	0.6
642.4	pregnancy induced hypertension	13	7.6
651.0	multiple pregnancy	3	1.7
662	prolonged labor	3	1.7
752.3	bicornuate uterus	1	0.6
656.4	fetal death in utero	2	1.2
620	ovarian cyst	1	0.6
659.5	elderly primigravida	2	1.2
652	malposition and malpresentation	5	2.9
total		172	100.0

8. Coincidental operations in obstetrical patient.		No.	%
5-664	bilateral tubal ligation	40	36.7
5-470	incidental appendectomy	50	46.7
5-681	myomectomy	18	16.5
5-706	posterior colporrhaphy	1	0.1
total		109	100.0

9. Maternal complications		No.	%
648.2	anemia	62	65.3
596.4	atony of bladder	27	28.4
674.3	complications of obstetric surgical wound	2	2.2
664.3	4th degree of perineal laceration	4	4.2
total		95	100.0

GYNECOLOGICAL WARD PATIENT

Total No. of inpatient : 245

1. Disease of inpatient		No.	%
218	uterine myoma	66	27.1
633	ectopic pregnancy	28	11.4
614.0	acute pelvic inflammatory disease	17	7.0
614.1	chronic pelvic inflammatory disease	15	6.1
620	ovarian cyst	17	7.0
634	incomplete abortion	2	0.8
632	missed abortion	4	1.6
640.0	threatened abortion	6	2.4
590.1	acute pyelonephritis	7	2.9
622.5	incompetent internal os of cervix	2	0.8
630	hydatidiform mole	4	1.6
626.8	dysfunctional uterine bleeding	9	3.7
617.0	adenomyosis	1	0.4
620.8	ovarian bleeding	3	1.2
620.5	parovarian cyst torsion	2	0.8
618.1	uterine prolapse	5	2.0
628.2	infertility of tubal origin	9	3.7
180	cervical carcinoma	28	11.5
616.3	cyst of Bartholin's gland	1	0.4
614.2	parovarian cyst	3	1.2
614.2	tubo-ovarian abscess	2	0.8
621.0	endometrial polyp	2	0.8
183.0	malignancy of ovary	6	2.4
	malignancy of vagina	1	0.4
626.9	bleeding on postoperative vaginal cuff	1	0.4
622.1	cervical dysplasia	3	1.2
182.0	invasive endometrial carcinoma	1	0.4
total		245	100.0

2. Age distribution		No.	%
under age 20		7	2.9
21 - 25		22	9.0
26 - 30		61	24.9
31 - 35		41	16.7
36 - 40		30	12.2
41 - 45		31	12.7
45 or more		53	21.6
total		245	100.0

3. Parity distribution	No.	%
0	66	26.9
1	41	16.7
2	59	24.1
3	39	15.9
4	18	7.3
5 or more	22	8.9
total	245	100.0

4. Gynecologic treatment of inpatients	No.	%
9-12 conservative treatment	94	38.4
5-680 total abdominal hysterectomy	70	28.7
5-590 dilatation & evacuation	16	6.1
5-655 unilateral salpingoophorectomy	4	1.6
5-661 salpingectomy	20	8.3
5-674 McDonald operation	2	0.8
5-651 ovarian wedge resection	4	1.6
5-651 ovarian cystectomy	6	2.4
5-651 ovarian cyst enucleation	10	4.1
5-690 suction and curettage	4	2.0
5-681 myomectomy	1	0.4
5-684 vaginal total hysterectomy	5	2.0
5-685 radical hysterectomy with pelvic lymphadenectomy	4	1.6
5-666 tuboplasty	4	1.6
5-707 repair of vaginal cuff	1	0.4
total	245	100.0

5. Coincidental operations of gynecologic inpatient		No.	%
5-470	incidental appendectomy	62	47.4
5-653	unilateral salpingoophorectomy	36	27.5
5-651	ovarian wedge resection	6	4.6
5-661	unilateral salpingectomy	3	2.3
5-544	adhesiolysis	10	7.6
5-704	posterior colporrhapy	7	5.3
5-680	fimbriectomy	2	1.5
5-669	unilateral tubal ligation	5	3.8
total		131	100.0

OUTPATIENT DEPARTMENT

Total No. of OPD patients : 6,969
 obstetrical patients : 4,146
 gynecological patient : 2,823

1. Disease distribution of obstetrical outpatients		No.	%
650	antenatal care	3,046	73.4
650	postpartum care	801	19.3
642.4	pregnancy induced hypertention	40	1.0
643	hyperemesis gravidarum	13	0.3
652	malposition and malpresentation	42	1.0
651	multiple pregnancy	14	0.3
641.1	placenta previa	5	0.1
656.4	fetal death in utero	1	0.1
644.1	preterm labor	16	0.4
	unclassified	168	4.1
total		4,146	100.0

2. Age distribution		No.	%
	under 20	30	0.7
	21 - 25	860	27.8
	26 - 30	2,066	49.8
	31 - 35	561	13.5
	36 - 40	338	8.2
	41 - 45	111	2.7
	46 or more	180	4.3
total		4,146	100.0

3. Parity distribution		No.	%
	0	1,852	44.7
	1	1,440	34.7
	2	421	10.1
	3	214	5.2
	4	129	3.1
	5 or more	90	2.2
total		4,146	100.0

4. Gestational weeks at first visit in OB. patient.

weeks	No.	%
under 6	290	7.0
7 - 12	450	10.9
13 - 16	365	8.8
17 - 20	315	7.6
21 - 24	189	4.6
25 - 28	167	4.0
29 - 32	233	5.6
33 - 36	1,430	34.5
37 - 40	582	14.0
above 40	125	3.0
total	4,146	100.0

1. Disease distributions of gynecological outpatient

	No.	%
616.1 vaginitis and vulvovaginitis	470	16.66
131.1 trichomoniasis	6	0.20
112.1 moniliasis	5	0.17
615.3 abscess of Bartholin's gland	12	0.40
616.9 cervicitis and endocervicitis	143	5.20
622.7 cervical polyp	5	0.17
622.0 cervical erosion	9	0.30
621.6 malposition of uterus	20	0.80
218 uterine myoma	125	4.40
617.0 adenomyosis	7	0.20
615.9 endometritis	1	0.03
617 endometriosis	2	0.06
618 prolapse of uterus	5	0.17
614.0 acute salpingitis and oophoritis	67	2.40
614.1 chronic salpingitis and oophoritis	197	6.90
620 ovarian cyst	33	1.17
183 malignancy of ovary	9	0.30
194.0 adnexal mass	14	0.50
633 ectopic pregnancy	14	0.50
630 hydatidiform mole	4	0.13
599.0 urinary tract infection	1	0.03
626.8 dysfunctional uterine bleeding	91	3.20
627 menopausal and postmenopausal disorders	20	0.80
626.0 amenorrhea	45	1.60
628 infertility	58	2.10
family planning	15	0.50
for cancer survey	1,069	37.86
others	376	13.25
total	2,823	100.00

2. Age distribution

	No.	%
under 20	104	3.68
21 - 25	200	7.08
26 - 30	645	22.85
31 - 35	564	19.98
36 - 40	470	16.65
41 - 45	355	12.58
above 45	485	17.18
total	2,823	100.00

3. Parity distribution

	No.	%
0	312	11.05
1	341	12.08
2	663	23.49
3	554	19.62
4	405	14.35
5 or more	548	19.41
total	2,823	100.00

Ultrasonogram		No.	%
650	normal pregnancy	200	50.50
651	multiple pregnancy	2	0.51
652	malposition and malpresentation	9	2.27
656.4	intrauterine fetal death	4	1.01
641.1	placenta previa	25	6.31
630	hydatidiform mole	1	0.25
218	myoma uteri	42	10.61
620	ovarian cyst	39	9.84
632	missed abortion	5	1.26
183	adnexal mass	6	1.52
215.6	pelvic mass	12	3.03
634	incomplete abortion	4	1.01
640.4	threatened abortion	3	0.76
633	ectopic pregnancy	12	3.03
614	acute salpingitis and oophoritis	24	6.07
626.8	dysfunctional uterine bleeding	5	1.26
621.6	blighted ovum	3	0.76
total		396	100.00

Pap. smear	No.	%
class I	662	75.40
class II	196	22.32
class III	8	0.91
class IV	4	0.46
class V	8	0.91
total	878	100.00

2. 小 兒 科 臨 床 統 計

2. 小兒科臨床統計：

Number of Babies in Nursery

Year	1985*	1986	1987**	Total
Male	461	812	308	1,581
Female	485	782	269	1,536
Total	946	1,594	677	3,217

* From Jul. to Dec.

** From Jan. to Apr.

Classification of Babies in Nursery

Class \ Year	1985*	1986	1987**	Total
Well baby	623	1,142	473	2,238
Sick baby	237	392	84	713
Still birth	8	20	9	37
LBWI	46	60	20	126
Prematurity	35	52	13	100
S.G.A.	11	8	7	26
Total	914	1,614	586	3,114

* From Jul. to Dec.

** From Jan. to Apr.

Transferred Patients from Private Clinic and Their Disease Entities

Disease	Year	1985*	1986	1987**	Total
Prematurity		5	19	7	31
Sepsis		3	13	3	19
Jaundice		2	23	7	32
Aspiration Pneumonia		2	2	0	4
Meningomyelocele		1	0	1	2
Hypoglycemia		0	1	0	1
CHD & Down syndrome		2	0	0	2
& Down syndrome		0	1	1	2
Crouzon's disease		0	1	0	1
Meconium plug syndrome		2	1	0	3
Acute Gastroenteritis		0	2	0	2
IRDS		0	3	2	5
Ovarian cyst		0	0	1	1
Meningitis		0	1	0	1
Other chromosomal disease		0	0	1	1
Imperforated anus		0	1	0	1
Diaphragmatic hernia		0	0	2	2
T-E fistula		0	1	0	1
Lt. brachial palsy		0	0	1	1
Total		17	69	26	112

* From Jul. to Dec.

** From Jan. to Apr.

Number and Causes of Death in Nursery

Disease \ Year	1985*	1986	1987**	Total
Prematurity	3	3	0	6
Sepsis	1	1	1	3
D. I. C.	1	2	0	3
IRDS	2	4	1	7
CHD				
c̄ Down synd.	1	1	0	1
s̄ Down synd.	0	2	0	2
Large ASD	0	1	0	1
I. C. H.	0	1	0	1
Multiple congenital anomaly	0	3	1	4
Total	8	17	3	28

* From Jul. to Dec.

** From Jun. to Apr.

Number of Newborns Admitted in NICU
and Newborn Applied with the Equipment

Year \ Class	No. of NB care in incubator	No. of NB admitted in NICU	No. of monitor applied	No. of respirator applied
1985*	373	219	25	8
1986	582	350	86	27
1987**	94	103	11	5
Total	1,049	672	122	40

* From Jul. to Dec.

** From Jan. to Apr.

TSH and Guthrie Study in Nursery

Year	No. of tested TSH and Guthrie
85*	493
86	698
87**	170
Total	1,361

* From Jul. to Dec.

** From Jan. to Apr.

Number of Echocardiographic Examination

No \ Year	1985*	1986	1987**	Total
	56	117	62	235

* From Jul. to Dec.

** From Jan. to Apr.

Activities of Well Baby Clinic

		1985*	1986	1987**	Total
No. of visit	New visit	507	1,223	373	2,103
	Re-visit	1,551	4,987	1,692	8,230
	Subtotal	2,048	6,210	2,065	10,323
Counselling	General	2,058	6,210	2,065	10,333
	Nutrition	1,317	2,926	726	4,969
Screening tests	Mantoux 5TU	230	424	105	759
	test 1TU	70	371	123	564
	T.S.H.	6	24	14	38
	Hb	197	396	75	668
Vaccination	B.C.G.	395	1,219	431	2,045
	D.P.T.	927	2,705	842	4,474
	D.T.	79	82	27	188
	Pertusis	82	27	0	109
	Sabin	1,006	2,780	869	4,655
	M.M.R.	85	270	156	511
	Measles	54	264	106	424
	Hepatitis B	371	1,419	787	2,577
	Encephalitis	147	457	0	604
	Subtotal	3,146	9,223	3,218	15,587

* From Jul. to Dec.

** From Jan. to Apr.

Rate of Visit to Well-Baby Clinic among the
Babies Delivered at K.M.C.H. Center

Item Year	No. of newborns	No. of visited	Rate of visit (%)
85*	614	367	60
86	1,535	874	59.6
87**	551	287	52
Total	2,700	1,528	57.2

* From Sep. to Dec.

** From Jan. to Apr.

Annual Statistics of Pediatric Patient

	OPD patient	Well baby clinic	In- patient	Nursury	Total
85*	34,001	2,058	10,066	8,830	54,955
86	42,670	6,210	11,331	8,751	68,962
87**	13,998	2,065	798	2,918	19,779
Total	90,669	10,333	22,195	20,499	143,696

* From Jul. to Dec.

** From Jan. to Apr.

* From Jul. to Dec.

** From Jan. to Apr.

소아과 입원환자 병류별 통계 (Classification of Diseases in Inpatients)

	1985 *	1986	1987**	Total
0020 Typhoid fever	7	26	3	36
1140 Shigellosis	10	16	1	27
0059 Food poisoning	3	34	3	40
0091 Enterocolitis	269	331	95	695
0110 Pulm Tbc	12	7	1	20
0120 Tbc pleurisy	4	5	0	9
0130 Tbc meningitis	0	2	0	2
0140 Intestinal Tbc	2	2	0	4
0102 Tbc lymphadenitis	0	0	0	0
0339 Pertussis	0	2	0	2
0341 Scarlet fever	6	15	7	28
0362 Meningococemia	3	12	0	15
0389 Septicemia	11	12	7	30
0479 Viral meningitis	4	19	2	25
0520 Chicken pox	6	16	3	25
0539 Herpes zoster	0	1	1	2
0542 H. gingivostomatitis	2	3	6	11
0560 Rubella	0	18	5	23
0559 Measles	17	15	5	37
0578 Exanthem subitum	1	6	2	9
0579 Viral exanthem	5	3	2	10
0701 Infectious hepatitis	1	9	2	12
0703 Serum hepatitis	4	16	1	21
0729 Mumps	5	8	3	16
0740 Herpangina	13	20	6	39
0750 Infectious mononucleosis	0	6	0	6
0772 Pharyngoconj. fever	15	7	3	25
0780 Molluscum contagiosum	1	2	0	3
1120 Oral candidiasis	11	20	4	35
1569 Malignancy of biliary tract	0	0	0	0
2028 Lymphoma	0	2	0	2
2040 ALL	4	2	1	7
2050 AML	1	0	0	1
2396 Brain tumor	0	0	0	0

	1985 *	1986	1987 **	Total	
2429	Thyrotoxicosis	3	0	0	3
2430	Cong. hypothyroidism	2	0	1	3
2531	Hyperpituitarism	1	0	0	1
2544	Adrenal insufficiency	3	0	0	3
2754	Hypo/Hypercalcemia	0	2	0	2
2761	Acid-base imbalance	0	48	1	49
0765	Volume depletion	29	0	19	48
2790	Cellular immune deficiency	1	0	0	1
2800	IDA	7	14	6	27
2829	Cong. Hemolytic anemia	1	0	0	1
2849	Aplastic anemia	2	4	0	6
2860	Hemophilia	1	2	0	3
2866	Afibrinogenemia	2	0	0	2
2870	Allergic purpura	3	15	9	27
2873	Primary thrombocytopenia	3	1	0	4
2893	Lymphadenitis	3	6	7	9
2895	Banti syndrome	0	3	0	3
2897	Methemoglobinemia	0	0	0	0
3180	Mental retardation	3	2	1	6
3200	Meningitis	11	12	4	27
3217	Viral meningitis	2	17	2	21
3313	Communicating hydrocephalus	7	7	0	14
3439	Cerebral palsy	2	1	2	5
3459	Epilepsy	1	7	5	13
3580	Myasthenia gravis	0	0	0	0
3801	External otitis	2	1	0	3
3820	OMPA	0	5	2	7
3900	Rheumatic fever	4	2	4	10
4239	Pericardial disease	1	1	0	2
4280	CHF	5	6	6	17
4310	Intracerebral hemorrhage	1	1	1	3
4461	MCLS	7	14	5	26
4620	Acute pharyngitis	48	80	11	139
4630	Acute tonsillitis	1	15	3	19
4640	Acute laryngitis	10	34	2	46
4644	Croup	12	17	4	33
4658	URI	62	126	67	255

		1985*	1986	1987**	Total
4661	Acute bronchiolitis	46	94	18	158
4730	CMS	5	25	17	47
4809	Viral pneumonia	71	38	2	111
4839	Bacterial pneumonia	19	27	29	75
4850	Bronchopneumonia	161	354	56	571
4871	Influenza	0	2	0	2
4900	Bronchitis	17	24	25	66
4039	Asthma	51	50	26	127
4940	Bronchiectasis	0	1	0	1
5140	Pulmonary congestion	0	3	0	3
5272	Sialoadenitis	2	1	0	3
5262	Oral aphthae	2	0	0	2
5301	GE reflux	0	5	3	8
5314	Gastric ulcer	3	2	0	5
5350	Acute gastritis	12	48	20	80
5375	Gastroptosis	0	1	0	1
5509	Inguinal hernia	2	3	5	10
5531	Umbilical hernia	2	6	0	8
5600	Intussusception	16	30	11	57
5601	Intestinal obstruction	2	9	0	11
5460	Constipation	0	0	2	2
5731	Viral hepatitis	6	10	8	24
5789	G-I Bleeding	1	0	0	1
5798	Intestinal malabsorption	2	0	1	3
5809	Acute GN	8	21	2	31
5819	Nephrotic syndrome	10	6	1	17
5849	ARF	3	5	5	13
5908	Pyelonephritis	1	4	1	6
5990	UTI	18	29	16	63
6039	Hydrocele	1	0	1	2
6800	Carbuncle furuncle	9	2	4	15
6810	Cellulitis	0	4	2	6
6910	Diaper rash	6	8	17	31
6918	Atopic dermatitis	1	13	10	24
6930	Drug rash	1	3	3	7
6951	Steven Johnson syndrome	0	1	0	1
7040	Alopecia	0	0	0	0
7051	Miliaria pustulosa	0	9	2	11

	1985*	1986	1987**	Total
7089 Urticaria	15	23	4	42
7114 Septic arthritis	0	4	0	4
7140 Rheumatoid arthritis	2	2	1	5
7270 Transient synovitis	0	1	0	1
7425 Congenital anomaly	16	9	4	29
7454 VSD	9	18	6	33
7455 ASD	5	1	3	9
7483 Laryngomalacia	0	4	0	4
7490 Cleft palate	2	0	0	2
7505 CHPS	1	6	1	8
7580 Down syndrome	3	6	1	10
7651 Prematurity	10	18	3	31
7668 Noonan syndrome	0	1	2	3
7670 Subdural hemorrhage	7	5	1	13
7703 Pulmonary hemorrhage	1	4	0	5
7706 Tachypnea of newborn	2	0	4	6
7713 Tetanus neonatorum	0	19	0	19
7714 Omphalitis	2	8	0	10
7718 Neonatal sepsis	11	13	2	26
7743 Neonatal jaundice	62	70	30	162
7761 Neonatal thrombocytopenia	14	0	0	14
7764 Polycythemia	1	0	0	1
7803 Convulsion	23	81	13	117
7806 FUO	10	3	1	14
7834 Growth retardation	6	4	3	13
7847 Postnasal bleeding	0	3	0	3
7890 Abdominal pain	1	2	0	3
7999 Asphyxia	1	2	1	4
7876 Incontinence	1	0	0	1
8510 Cerebral contusion	0	1	2	3
9841 Foreign body in trachea	1	1	0	2
9756 Drug poisoning	1	0	5	6
9860 CO poisoning	6	0	5	11
9950 Neuroblastoma	2	0	1	3
etc ETC	0	185	93	278
Total	1,350	2,412	798	4,508

소아과 외래환자 병류별 통계 (Classification of Diseases in OPD Patients)

	1985*	1986	1987**	Total
00200 Typhoid fever	60	55	0	115
00300 Salmonella gastroenteritis	0	9	5	14
00390 Salmonellosis	2	2	0	4
00490 Shigellosis unspecified	9	6	3	18
00590 Food poisoning	6	2	0	8
00850 Bacterial enteritis unspecified	0	3	3	6
00860 Viral GE	162	19	1	182
00900 Infectious colitis	0	7	8	15
00901 Enterolitis	225	22	1	258
00902 Gastroenteritis	738	2,460	605	3,803
00903 Dysentery	0	15	1	16
00930 Diarrhea (presumed infectious origin)	0	23	11	34
01000 Primary tuberculous complex	0	141	51	192
01100 TBC of lung infiltrative	0	403	138	541
01110 TBC of lung nodular	0	2	1	3
01190 Pulmonary TBC	1,057	2,414	586	4,057
01200 TBC pleurisy	50	30	0	80
01300 TBC meningitis	6	8	0	14
01400 Int. TBC	5	6	0	11
01720 TBC lymphadenitis	0	3	3	6
02390 Brucellosis	0	1	0	1
03000 Leprosy	0	1	1	2
03390 Pertussis	36	37	33	106
03400 Str. pharyngitis	12	0	2	14
03410 Scarlet fever	5	45	10	60
03500 Erysipelas	0	2	0	2
05200 Chicken pox	95	202	40	337
05420 Herpetic gingivostomatitis	4	34	2	40
05590 Measles	34	33	4	71
05600 Rubella	8	25	1	34
05780 Exanthem subitum	0	10	2	12
05790 Viral exanthem unspecified	14	34	2	50
07010 Infectious hepatitis	0	16	6	16
07030 Serum hepatitis	597	185	72	854
07090 Viral hepatitis	0	269	44	313

	1985*	1986	1987**	Total
07290 Mumps	26	58	6	90
07300 Ornithosis	0	1	0	1
07400 Herpangina	125	268	19	412
07430 Hand-Foot-mouth-disease	4	31	3	38
07500 Infectious mononucleosis	0	4	0	4
07790 Viral conjunctivitis	10	14	26	50
08500 Leishmaniasis	0	1	0	1
09090 Congenital syphilis	0	7	5	12
09020 Early congenital syphilis unspecified	0	2	1	3
11000 Sycosis	0	1	1	2
11010 Dermatophytosis of nail	0	1	0	1
11200 Candidiasis of mouth	0	103	31	134
11290 Candidiasis	45	33	1	79
12700 Ascariasis	0	1	0	1
12740 Enterobiasis	10	14	0	24
13690 Parasitic infestation	0	7	7	14
16200 Trachea cancer	0	2	0	2
20300 Multiple myeloma	0	6	0	6
20400 Acute lymphoid leukemia	43	64	19	126
21640 Benign tumor of scalp & skin of neck	0	1	0	1
21800 Myoma uteri	0	1	0	1
20280 Malignant lymphoma	0	3	0	3
22500 Head tumor	0	3	0	3
22700 Adrenal tumor	0	2	0	2
24090 Thyroid tumor	5	35	8	48
24290 Thyrotoxicosis	12	21	9	42
24300 Congenital hypothyroidism	16	20	9	45
24490 Acquired hypothyroidism	6	2	0	8
24580 Chronic thyroiditis	0	1	0	1
25000 D.M.	0	3	0	3
25200 Hyperparathyroidism	8	9	0	17
25500 Cushing syndrome	0	1	0	1
25540 Corticoadrenal insufficiency	0	2	0	2
26400 Vit. A. deficiency	0	1	0	1
26690 Vit. B. deficiency	0	1	0	1

	1985*	1986	1987**	Total
26800 Rickets active	0	22	10	32
26890 Vitamin, D. Deficiency	0	2	0	2
27010 PKU	0	3	0	3
27800 Obesity	0	1	0	1
28000 Iron deficiency anemia	0	88	106	194
28190 Anemia	33	129	31	193
28490 Aplastic anemia	5	10	5	20
28600 Hemophilia	3	0	0	3
28690 Defective coagulation	0	4	2	6
28700 Allergic purpura	0	22	15	37
28720 Purpura	30	61	5	96
28730 ITP	7	45	1	53
30000 Anxiety neurosis	0	4	2	6
30100 Paranoid personality disorder	0	2	0	2
31000 Lobectomy syndrome	0	1	0	1
31700 Feeble - Minded	0	1	15	16
31900 Mental retardation	0	516	128	644
32000 Bacterial meningitis	0	2	0	2
32100 Fungal meningitis	0	2	0	2
32290 Meningitis	0	25	0	25
32390 Encephalitis	0	1	0	1
33610 Hematomyelia	0	1	0	1
34390 Infantile cerebral palsy	9	10	0	19
34490 Paralysis	0	1	0	1
34500 Generalized nonconvulsive epilepsy	162	5	0	167
34520 Petit mal epilepsy	0	2	0	2
34530 Grand mal epilepsy	0	4	1	5
34590 Epilepsy	0	606	165	771
34690 Migraine	8	4	0	12
36200 Retinal disorder	0	1	0	1
37200 Acute conjunctivitis	44	5	4	53
37230 Conjunctivitis	0	231	49	280
37311 Furuncle of eyelid	2	0	0	2
37312 Stye	0	8	0	8
38010 Otitis externa	0	2	8	10

	1985*	1986	1987**	Total
38230 Chronic purulent otitis media	0	1	0	1
38290 Otitis media	0	25	2	27
38870 Otitis media	0	1	1	2
39000 Rheumatic fever	39	39	16	94
39100 Acute rheumatic pericarditis	1	22	2	25
39890 Rheumatic heart disease	0	5	2	7
42790 Arrhythmia	4	9	9	22
42890 Heart failure	0	3	0	3
43200 Intracranial hemorrhage	2	1	0	3
43300 Basilar artery stenosis	0	3	0	3
43500 Transient cerebral ischemia	0	4	0	4
43600 Cerebral apoplexy	0	1	0	1
44600 Periarthritis	0	2	0	2
44610 Kawasaki disease	32	120	10	162
44620 Goodpasture syndrome	0	1	0	1
45200 Portal vein thrombosis	0	2	0	2
45500 Internal hemorrhoid	0	4	0	4
45600 Esophageal varices	0	2	0	2
45620 Esophageal varices in cirrhosis of liver	0	2	0	2
45800 Orthostatic hypotension	0	2	0	2
46000 Acute nasopharyngitis	0	23	6	29
46001 Common cold	362	338	83	783
46100 Acute sinusitis	233	596	202	1,011
46120 Ethmoid sinusitis	0	2	0	2
46220 Acute pharyngitis	7,991	13,400	4,390	25,781
46300 Acute tonsillitis	287	660	298	1,245
46400 Acute laryngitis	35	18	8	61
46440 Croup	22	68	43	133
46500 Acute laryngopharyngitis	0	103	19	122
46590 URI	1,340	2,533	744	4,617
46600 Acute bronchitis	2,256	2,819	1,248	6,323
46610 Acute bronchiolitis	105	152	31	288
47300 C.M.S.	173	358	231	762
47400 Chronic tonsillitis	3	0	1	4
47700 Allergic rhinitis	0	10	9	19

	1985*	1986	1987**	Total
48090 Viral pneumonia	3	13	3	21
48100 Pneumococcal pneumonia	26	5	0	31
48200 Klebsiella pneumonia	0	17	10	27
48290 Bacterial pneumoia	7	27	5	39
48430 Pneumonia in infectious whooping	0	1	0	1
48500 Bronchopneumonia	704	2,229	403	3,336
48600 Pneumonia	8	192	26	266
48700 Influenza	0	1	0	1
49129 Asthmatic bronchitis	157	141	97	395
49200 Emphysema	4	8	0	12
49300 Asthma	485	1,107	283	1,875
49300 Allergic asthma	0	1	0	1
49500 Allergic alveolitis	0	50	0	50
50200 Silicosis	0	21	0	21
51900 Tracheostomy malfunction	0	1	0	1
52720 Sialoadenitis	0	11	0	11
52700 Atrophy of salivary gland	0	1	0	1
52800 Stomatitis	70	90	21	181
53000 Achalasia	0	3	0	3
53190 Gastric ulcer	0	9	3	12
53290 Duodenal ulcer	0	20	6	26
53340 Peptic ulcer	23	54	3	80
53500 Acute gastritis	295	325	157	777
53600 Duodenitis	0	1	0	1
53600 Achlorhydria	0	7	0	7
53690 Functional gastric disorder	0	3	4	7
53700 Pyloric stenosis	0	2	1	3
53750 Gastroptosis	0	2	0	2
54090 Acute appendicitis	2	3	0	5
55000 Inguinal hernia	5	7	0	12
55001 Scrotal hernia	0	2	0	2
55210 Umbilical hernia	3	1	0	4
55500 Enteritis	0	1	1	2
56000 Intussusception	9	4	3	16
56200 Diverticula of intestine	0	3	0	3
56400 Constipation	26	40	25	91
56600 Perianal abscess	0	3	0	3

	1985*	1986	1987**	Total
57330 Hepatitis	41	14	1	56
55810 Melena	0	1	0	1
57890 Gastric hemorrhage	0	1	0	1
57891 Intestinal hemorrhage	0	1	1	2
58001 Acute nephritis	20	14	1	35
58090 Acute glomerulonephritis	132	319	55	506
58190 Nephrotic syndrome	64	138	24	226
58500 Chronic renal failure	0	1	0	1
59000 Chronic pyelonephritis	0	2	2	4
59010 Acute pyelitis	0	1	1	2
59200 Renal stone	1	0	0	1
59480 Ureteral stone	5	0	0	5
59500 Acute cystitis	0	1	1	2
59700 Urethral abscess	0	1	0	1
59900 Urinary tract infection	173	572	144	889
59910 Urethral fistula	0	1	1	2
59970 Hematuria	0	14	4	18
60710 Balanoposthitis	2	2	0	4
61110 Hypertrophy of breast	0	2	1	3
61610 Vaginitis	0	3	0	3
61900 Utere-vesical fistula	0	3	1	4
62140 Hematometra	0	2	0	2
62350 Leukorrhoea	1	0	0	1
63400 Spontaneous abortion	0	1	0	1
65500 CNS malformation in fetus	0	1	0	1
68000 Carbuncle of face	0	5	0	5
68090 Furuncle	24	2	0	26
68100 Cellulitis of finger	0	10	0	10
68200 Abscess of face	0	11	9	20
68110 Abscess of finger	0	1	2	3
68290 Abscess	47	127	18	192
68291 Cellulitis	0	15	5	20
68293 Skin abscess	0	3	1	4
68300 Acute lymphadenitis	113	14	0	127
68400 Impetigo	17	14	4	35
68600 Pyoderma	0	2	3	5

	1985*	1986	1987**	Total
69002 Eczema	0	1	1	2
69000 Parakeratosis	0	1	0	1
69100 Diaper rash	60	93	19	172
69180 Atopic dermatitis	101	349	216	666
69181 Infantile eczema	26	131	12	169
69200 Dermatitis (detergent)	9	3	1	13
69290 Contact dermatitis	0	4	1	5
69292 Eczema dermatitis	0	1	0	1
69890 Pruritus	0	2	0	2
70100 Dermatosclerosis	1	0	0	1
70511 Heat rash	0	6	0	6
70510 Prickly heat	1	0	0	1
70800 Allergic urticaria	0	23	13	36
70890 Urticaria	110	170	26	306
70902 Freckle	1	0	0	1
70980 Vesicular eruption	0	2	0	2
71000 SLE	1	1	0	2
71140 Bacterial arthritis	0	2	0	2
71400 Rheumatoid arthritis	19	35	4	58
71900 Effusion of joint	0	3	1	4
71940 Arthralgia	86	12	2	100
72020 Sacroillitis	0	1	0	1
72700 Synovitis	0	1	0	1
72950 Pain in limb	0	1	0	1
73020 Osteomyelitis	3	9	2	14
73320 Cyst of bone	0	1	0	1
74520 TOF	0	4	0	4
74540 VSD	17	35	4	56
74680 Congenital heart disease	36	70	25	131
75000 Tongue tie	0	1	0	1
75050 Pyloric stenosis	0	4	1	4
75130 Congenital megacolon	0	4	2	6
75800 Down syndrome	0	1	2	3
77122 Congenital toxoplasmosis	0	1	0	1
75600 Crouzon's disease	0	1	0	1
77140 Omphalitis of newborn	30	61	23	114

	1985*	1986	1987**	Total
77160 Neonatal conjunctivitis	28	16	6	50
77180 Sepsis of newborn	3	6	0	9
77440 Neonatal hepatitis	0	1	1	2
77460 Neonatal jaundice	65	216	92	373
77510 Neonatal DM	0	1	0	1
77640 Polycythemia neonatorum	0	4	1	5
77900 Convulsion in newborn	0	11	2	13
78000 Coma & stupor	0	2	4	6
78020 Syncope & collapse	0	4	2	6
78030 Convulsion	0	31	2	33
78060 Pyrexia of unknown origin	0	6	2	8
78061 Hyperpyrexia	0	23	7	30
78170 Tetany	1	0	0	1
78300 Anorexia	19	92	9	120
78340 Physical retardation	0	5	0	5
78400 Headache	0	9	4	13
78500 Tachycardia	0	2	0	2
78560 Enlargement of lymph node	0	34	5	39
78600 Dyspnea	0	2	1	3
78650 Chest pain	0	3	1	4
78700 Nausea & vomiting	0	19	3	22
78831 Enuresis	0	2	5	7
78900 abdominal	66	174	88	328
78930 Swelling in abdomen	0	3	1	4
84000 Sprains of shoulder	0	0	0	0
84301 Sprains of thigh	0	1	0	1
85300 Traumatic ICH	4	3	0	7
85401 Head injury	7	4	0	11
92001 Contusion of scalp	0	1	1	2
93300 Foreign body in pharynx	1	1	0	2
93510 Foreign body in esophagus	0	1	0	1
99510 Angioedema	0	12	0	12
99521 Drug reaction	0	3	0	3
30090 Neurosis	0	6	1	7
78470 Epistaxis	0	3	1	4
87000 Laceration of skin of eyelid	0	1	0	1

	1985*	1986	1987**	Total
06390 Hemorrhagic fever unspecified	0	1	1	2
11030 Tinea of groin	0	1	0	1
28930 Lymphadenitis	0	5	0	5
34000 Multiple sclerosis	0	1	1	2
34540 Partial epilepsy	0	1	0	1
36700 Hypermetropia	0	1	0	1
37250 Conj. pigmentation	0	1	0	1
40200 Hypertensive heart disease	0	1	1	2
40300 Hypertensive nephropathy	0	1	1	2
47200 Chronic rhinitis	0	1	1	2
53681 Hyperacidity	0	1	0	1
56410 Irricitis colon	0	1	3	4
61600 Cervicitis	0	1	1	2
61612 Trichomonas	0	1	0	1
70300 Ingrowing nail	0	1	0	1
70901 Chloasma	0	1	0	1
71100 Pyogenic Arthritis	0	1	0	1
71191 Acute arthritis	0	1	0	1
74600 Anomalies of pulmonary valve	17	1	0	18
76710 Cephalhematoma	0	1	2	3
51000 Empyema	0	0	115	115
Others	0	0	59	59

* From Jul. to Dec.

** From Jan. to Apr.

— 모자보건시리즈 No1 —
(새 생명 1년간의 육아 전서)

資
料
5

아기돌보기



전국모자보건종합센터
보령장업추진회

인 사 말

그동안 오늘보다 나은 내일을 위한 온 국민의 노력은 문화적, 경제적인 면에서 비약적인 발전을 거듭하여 세계속에 한국, 한국속에 세계를 이룩해왔습니다. 아름다운 국토에 살기좋은 복지사회 건설은 우리의 이상이며 우리에게 주어진 시대적 사명입니다. 현실적으로 살기좋은 복지사회 건설을 위해서는 우리 스스로가 해결해야할 많은 문제점이 있습니다.

그 가운데 심각한 인구문제는 전 인류가 안고있는 문제인 동시에 우리나라의 성장 발전을 위하여 고려해야할 중요한 문제입니다.

인구는 노동력의 원천인 동시에 소비의 크기를 결정합니다. 그러므로 적당한 인구는 노동력을 통한 적당한 생산과 소비를 형성하므로 복지사회의 발판이며 온 국민이 행복한 생을 누릴수 있게 하는 출발점입니다.

세계 인구가 배로 증가하는데 선사시대에는 만년이 소요되었고, 역사시대에는 천년이 소요되었습니다.

그러나 오늘날에는 불과 100년 동안에 세계 인구가 2 배로 증가 되었습니다.

더욱 놀라운 일은 오늘날의 인구증가추세가 그대로 지속된다면 앞으로 33년 후 인구의 2배가 된다는 사실입니다.

일찌기 맬더스는 인구론에서 "인구는 기하급수적으로 증가하는데 식량은 산술급수적으로 증가하다"고 인구문제의 심각성을 일깨워주었습니다.

우리의 행복한 생을 누릴 수 있는 복지사회 건설을 위하여 정부는 20여년간에 걸쳐 가족계획 사업을 꾸준히 시행해 왔으며, 서기 2023년까지는 정지인구를 위하여 범국민적으로 모든 노력을 경주하고 있습니다. 이러한 시책의 일환으로 "행복한 한가정 한자녀" 운동을 범국민적으로 적극 추진하고 있습니다.

미래의 조국과 인류의 번영을 양어깨에 걸머질 우리 후손들이 정신적, 육체적으로 건강하게 태어나 건강하게 자라날 수 있도록 하는 책임이 국가는 물론 부모와 우리 모두에게 있습니다.

이러한 취지에 구상된 모자보건사업은 전국 13개 모자보건사업 지역으로 나누워 11개 사립대학병원, 사립종합병원에 지역모자보건 종합센터를 지정하여 지역모자 보건사업 활성화를 통한 민관합동 모자보건사업의 첫 장을 열게 되었습니다.

이번에 지역모자보건 종합센터의 협의체인 전국 지역모자보건 종합센터 협의회가 보령장업 주식회사 후원으로 모자보건 교육 참고자료로써 제 1 권 "어린이 돌보기"를 발간하여 부모님 들께 육아상식책을 잘하게 된 것은 모자보건사업중 교육적 측면에서 매우 가치있는 일로써 기쁘게 생각합니다.

앞으로도 자녀 교육에 대한 참고 책자를 계속해서 발간하여 다소나마 우리의 새싹들이 건강하고 훌륭하게 자라는데 도움이 되시기를 기원합니다.

본 책자 발간에 물심양면으로 도와주신 여러분께 진심으로 감사드립니다.

전국지역모자보건종합센터 협의회 회장
순천향대학 한국모자보건센터 소장



감수 및 자문위원 (무순)

순천향대학 한국모자보건센터	소 장: 유 훈 교수
	소아과: 이 동 환 교수
강원지역모자보건종합센터 (한림대학부속병원)	소 장: 권 순 욱 교수
강원지역 모자보건종합센터 (연세대원주의대부속병원)	소 장: 김 대 현 교수
충남지역모자보건종합센터 (순천향대학천안병원)	소 장: 배 동 한 교수
경북지역모자보건종합센터 (순천향대학구미병원)	소 장: 이 중 룡 교수
충남지역모자보건종합센터 (대전을지병원)	소 장: 유 영 해 박사
진남지역모자보건종합센터 (광주기독병원)	소 장: 임 헌 징 박사
전북지역모자보건종합센터 (전주예수병원)	소 장: 이 영 혜 박사
경남지역모자보건종합센터 (부산일신기독병원)	소 장: 박 경 화 박사
경북지역모자보건종합센터 (안동성소병원)	소 장: 정 복 득 박사
충북지역모자보건종합센터 (청주서울병원)	소 장: 라 정 복 박사
한국인구보건연구원 (본 협의회 자문위원)	김 정 태 박사
순천향대학예방의학교실 (본 협의회 자문위원)	방 숙 교수
보령제약주식회사 학술부	
보령장업주식회사 육아상담실	

순천향대학 한국모자보건센터 자문위원

한국불임시술협회 회 장	김 세 경 박사
한국불임시술협회 부회장	배 병 주 박사
서울대학교의대 산부인과	장 윤 석 교수
서울대학교의대 소아과	고 광 욱 교수
연세대학교의대 산부인과	곽 현 모 교수
연세대학교의대 소아과	진 동 식 교수
고려대학교의대 산부인과	홍 성 봉 교수
카톨릭대학교의대 소아과	이 두 봉 교수
을지병원 원 장	박 찬 무 박사

아기 돌보기

- 신생아부터 돌때까지 -

사랑하는 엄마·아빠에게

이 책은 당신과 당신의 아기를 위해 엮어진 것입니다.

당신이 가까운 미래에 부딪히게 될 많은 문제들에 대해 이책은 명쾌한 답변을 해 줄 것입니다.

젊은 부모들, 특히 첫 아기를 갖는 부모들은 많은 새로운 환경에 부딪칠 것입니다.

그러므로 저희들은 이 책을 통해 당신에게 자신감을 갖도록 해드리고자 합니다.

아기의 육체적 정신적 성장은 물론 양육 및 건강에 대한 많은 문제에 유용한 육아 상식을 이 책은 담고 있습니다.

당신은 크고 작은 문제들에 대한 실질적인 해결 방안을 이 책에서 찾게 될 것입니다.

순천향대학 한국모자보건센터 소아과

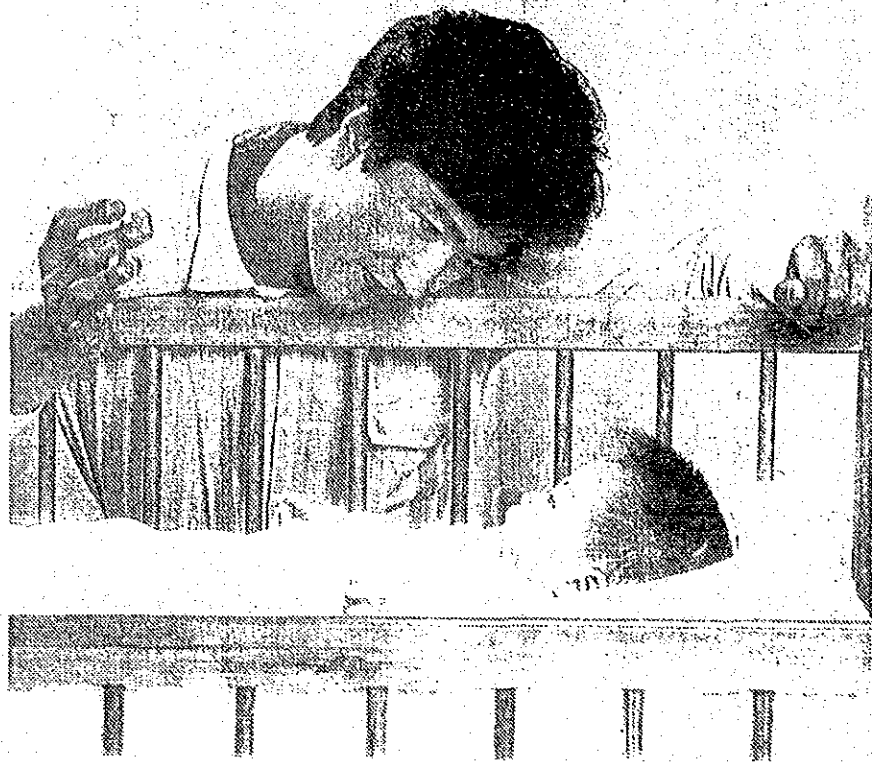
교수 이상주

교수 이동환

차 례

출생준비	160
집에서의 첫날	161
신생아(출생후부터 1개월까지) 간호	162
아기를 다루는 올바른 자세	163
수유에 관한 이야기	164
올바른 목욕법	167
일광욕을 시킵시다	171
아기는 무언가 부족할때 울게 됩니다	173
신생아에게 흔한 질환	174
간단한 응급조치	176
기저귀의 내용물로부터 당신은 많은 것을 알 수 있습니다	177
백일의 치료보다, 하루의 예방이 낫다	179
아기의 미소가 의미하는 것	180
아기를 활기있게 만들 수 있는 장난감	182
아기의 지적능력을 훈련시키는 방법	184
아기의 지적 능력을 개발시켜주는 장난감	186
술가락 사용법을 배우다	190
이유방법과 이유식	192
아기가 12개월동안 자라나는 모습	198
소아과 의사	200
아! 아기의 이빨이 보인다	201
9개월째 아기가 기는 것을 배웁니다	202
아기가 걸음마를 배우는 놀라운 순간이 곧 오게 됩니다	207
그렇게 쉽지 않은 변기 사용법	210
아기가 태어난 후 첫해에 배우는 것	212
아기의 첫똥을 진심으로 축하합니다!	214
당신의 아기는 이렇게 말을 배우게 된다	216
생후 2년째, 아기는 왜 그토록 사랑스러울까?	218





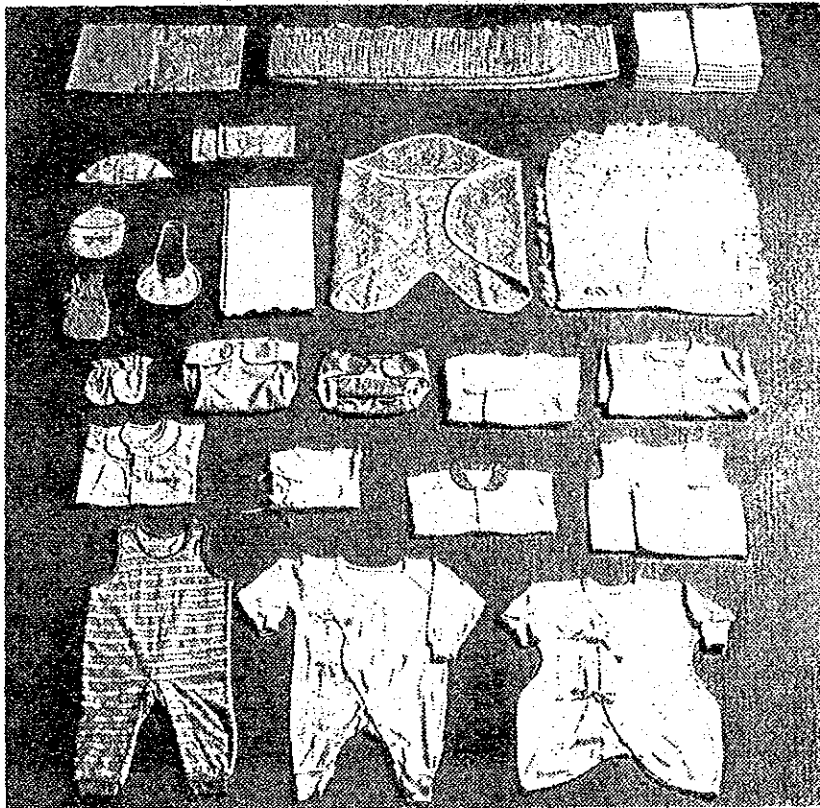


출생준비

모든 준비물은 분만 전에 미리 준비되어 있어야 합니다.

- 이불: 가벼운 솜이불
- 담요: 면이나 울으로 된 담요
- 아기의 옷과 기저귀
 - 가볍고 부드러운 천이어야 한다.
 - 아기 피부에 자극을 주지 않는 것.
 - 입히기 쉽고 보온이 잘 되는 것.
 - 땀 흡수가 잘 되고 삶을 수 있는 천.
 - 매일 또는 필요시마다 바꾸어 입힐 수 있도록 수요가 많은 것.
- 속옷: 거즈나 순면의 메리야스가 흡습성, 감촉, 입히기 쉬운 점 등으로 보아 좋습니다. 갓난아기라도 습관이 되면 앞트기 보다 미리로 뒤집어 싸우는 것이 더 편리합니다. 아기 속옷은 4~5벌정도면 됩니다

- 긴 속옷: 계절에 따라서 면, 메리야스, 울 등 3벌 정도.
- 조끼: 털실 조끼는 옷을 조절하는데 사철내내 편리합니다. 1~2벌 정도.
- 싸개: 펼치면 모포 대신에 쓸 수 있는 것이 편리합니다. 1장.
- 기저귀: 순면으로 된 흰 기저귀 30장 정도.
- 기저귀커바: 처음부터 맨터형울, 갓난 아기에게는 순면, 울이나 좋은 질의 모직물로 만든 것을 3~5장. 걸 옷보다 속옷과 기저귀, 기저귀커바 등은 좋은 질의 것을 고릅니다.
- 목욕통
- 젓병과 젓꼭지와 뚜껑
- 젓병 씻는 솔
- 유아용 샴푸, 베이비 파우더



집에서의 첫날

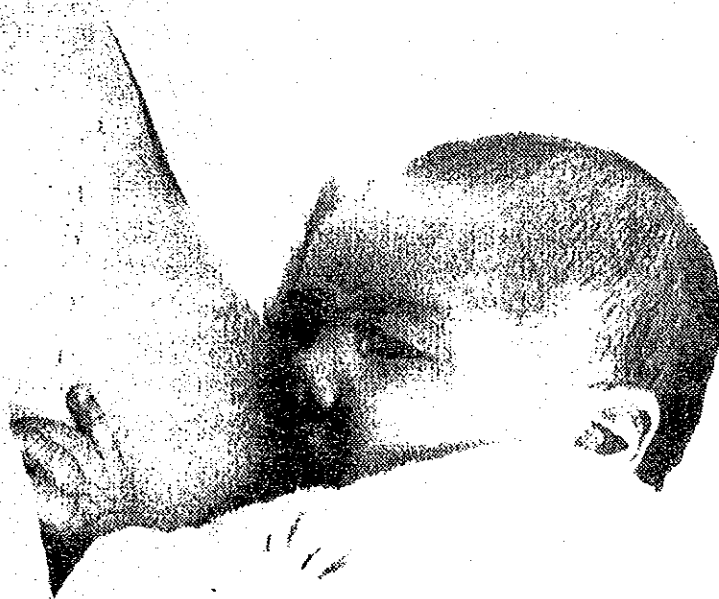
충분된 시작

당신은 처음으로 당신의 아기를 안게 됩니다. 아주 기묘한 느낌!
그 아기는 당신이 상상해 왔던 것과는 아주 다를 것입니다.
당신이 고통의 눈물을 흘리며 출산을 한 후 이삼일이 지나면 그러한 경이로움은 사라집니다.
그 이유는 아기의 코가 조금 비뚤어졌다는 것을 당신의 남편이 찾아냈다는가 하는 등의 아주 사소한 것 때문입니다.
이렇게 정신적으로 저조한 상태에 이르게 되는 것은 아주 정상적인 과정입니다.
그러나 당신은 아기가 더듬거리며 당신의 가슴과 당신의 체온을 찾을 때 그 조그만 존재에 대해 경이로움을 느끼게 됩니다.
손가락 한개를 아기에게 내밀면 그것을 아기는 꼭 움켜 쥐입니다.
그리고 벌써 아기는 당신을 똑바로 바라보려고 애씁니다.
그러나 싫증이 나거나 피곤해지면 아기의 눈은 찻점을 잃어가며 "엄마, 진 졸립다구요"라고 당신에게 말하는 것 같습니다.

당신은 매우 피곤하며 당신의 호르몬 체제는 다시 정상활동을 회복해야 합니다. 앞서 말한 "엄마의 행복"도 찾을 수 없고 조금씩 미래에 대해 불안감을 느끼게 됩니다.

아기는 이제 새롭게 만들어 놓은 자신의 조그만 이부자리에 누워 있습니다. 당신은 몇번이나 계속해서 아기에게 다가가 곱똥이 쳐다보곤 합니다. 연약하면서도 끊임없이 아기는 크고도 빠른 숨을 쉬고 있습니다. 제발 아기에게 아무 일도 없어야 할텐데! 모든 준비를 해 놓았는데도 당신은 여전히 불안하고 흡사 혼자 있는 것 같은 느낌을 가집니다. 이럴때 당신의 남편이나 당신의 어머니 혹은 당신을 다독기려 주고 그 많은 불안을 쏟아버려 줄 어떤 이가 당신 곁에 있으면 좋을 것입니다.

아기를 놀라게 할 수도 있기 때문에 당신은 방문객들을 멀리합니다. 우선 당신은 휴식을 취해야만 됩니다. 그리고 아기도 역시 휴식을 필요로 합니다.



신생아(출생후부터 1개월까지) 간호

어머니 뱃속에 있을 때는 체온, 영양, 산소같은 모든 것이 어머니를 통하여 조절되고 있었으나, 출생하면서부터 스스로 숨을 쉬게 되고, 젖을 빨아야 하며, 체온도 조절해야 합니다. 태어나서부터 1개월간, 특히 처음 2주간은 갓난아기가 어머니 뱃속과 완전히 다른 환경 중에서 스스로 적응하여 성장하는 중요한 시기입니다. 그러므로 우리 어머니는 갓난아기를 건강한 아가로서 일생의 첫 출발을 하도록 다음과 같은 세심한 주의로서 보살펴야 합니다.

안정

신생아는 젖을 먹는 시간 외에는 대부분 잠을 자는 것이 보통이며, 2주일이 지나면 젖을 먹는 시간외에도 눈을 뜨고 있는 모습을 볼 수 있습니다. 따라서 정돈되고 조용한 방안분위기를 조성하여 주십시오.

보온

자신의 체온 조절이 잘 되지 않기 때문에 신생아 방안온도나 옷은 추워서 안 되겠지만, 너무 덥게 할 필요도 없습니다.

스스로 체온조절이 잘 되지 않기 때문에 신생아의 방안온도나 옷은 추워서 안되며, 너무 더워서도 안됩니다.

신생아 방의 온도는 20°C 이하가 되지 않도록 하며 24°C 이상이 되지 않도록 합니다. 그리고 실내의 공기를 신선하게 하는 것을 잊지 마십시오.

질병의 예방

신생아를 돌보아 주는 어머니나 그 외의 사람은 손을 깨끗이 씻고 신생아를 만지도록 합니다. 특히 배꼽은 균이 들어가지 않도록 주의하여야 합니다. 젖을 먹일 때 젖꼭지를 따뜻한 물에 적신 탈지면으로 깨끗이 닦아서 아기에게

새균감염이 되지 않도록 하는 것이 좋습니다.

우유를 먹이는 경우에는 젖꼭지와 젖병을 소독하십시오.

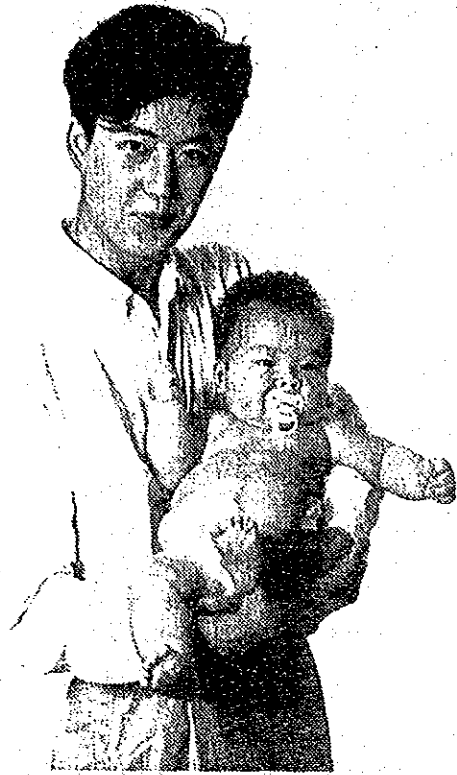
신생아가 태어나면 일가친척들이 찾아와서 축하하는 것은 좋지만 신생아가 있는 방에는 들어가지 않도록 하는 것이 좋습니다. 집안 식구 중에서도 감기에 걸린 사람이 있으면 신생아와 접촉하지 않도록 하며, 인나나 오빠들이 옆에 와서 입을 맞추고 만지고, 안고 하는 것은 삼가해야 하겠습니다.

제대 간호

제대는 모든 병균감염의 통로가 될 수 있고 이로 인한 감염은 치명적인 상태로 될 수 있기 때문에 특별한 주의를 해야 합니다. 제대는 보통 생후 1~2주일이 되면 떨어지는데, 분만 후부터 제대가 떨어질 때까지는 제대에 물이 닿지 않도록 목욕시키고, 목욕후 소독용 에틸알콜을 제대와 제대주위 살갓에 발라주고, 마른 후 옷을 입힙니다.



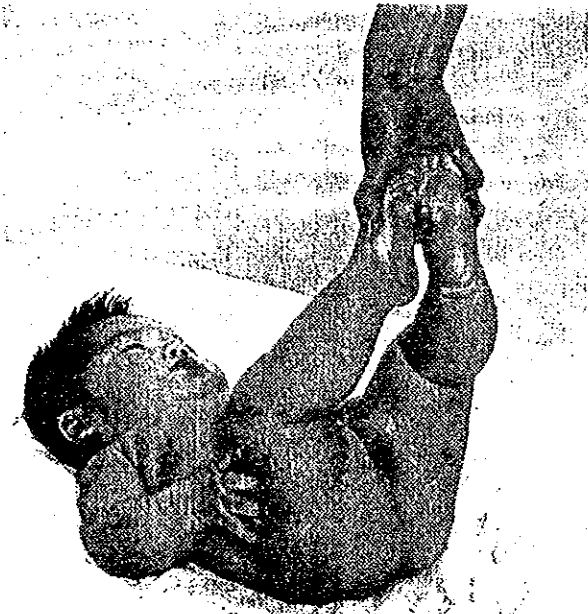
아기를 다루는 올바른 자세



● 한 손으로 안을 때 올바른 자세
아기의 머리는 당신의 구부러진 상박 위에 놓여져야 합니다.



● 두 팔로 안을 때 올바른 자세
머리가 당신의 어깨 위에 놓여져야 하며 한 손으로는 엉덩이를 다른 손으로 머리를 받쳐 줍니다.



● 대소변을 치울 때의 자세
아기의 연약한 피부가 서로 쓸리지 않도록 아기의 두발 사이에 집게 손가락을 넣어 잡아 줍니다.

수유에 관한 이야기

당신과 아기 사이에 첫번째 접촉은 젖을 먹이면서 이루어 집니다. 단지 아기를 키우기 위해 젖을 먹인다고는 결코 생각하지 마십시오! 모유를 먹이든 우유를 먹이든 언제나 편안하고 안정된 분위기가 조성되어야 합니다. 아기도 가장 편안한 자세, 엄마도 가장 편안한 자세로 애정을 가지고 수유를 시켜야 합니다. 피부를 통해 이루어지는 당신과 아기의 접촉도 중요한 의미를 가진 것입니다.

바로 그 접촉을 통해 안전감과 신뢰감이 아기에게 부여될 수 있기 때문입니다. 당신의 아기와 보다 더 많은 이야기를 나누십시오! 당신의 목소리는 당신의 피부가 줄 수 있는 따스함 만큼 아기에게 중요한 것입니다.

신생아에게는 어머니 젖이 제일 좋습니다

젖을 먹이면 반사적으로 자궁이 수축되므로 산후 자궁의 복구를 촉진시켜 줍니다. 그리고 모유를 통한 아기와 어머니의 빈번한 피부접촉은 아기에게는 정서적 안정과 만족을 주어 사랑을 느끼게 합니다. 또한 시간과 경제적인 면에서도 많은 절약이 됩니다.

신생아에게 이로운 짐으로는 모유는 자연적으로 특별히 영아에게 알맞게 만들어져 있어서 영아초기에는 모유만으로 충분한 영양이 됩니다. 모유는 가장 소화기 잘되고, 구토, 설사, 변비, 알레르기과 같은 장애가 적습니다. 모유는 젖꼭지만 깨끗하면 거의 무균상태이고, 신선해서 신생아의 욕구를 만족시킬 수 있는 자연식입니다. 그리고 땀날 때는 언제나 즉시 먹일 수 있습니다. 또한 알맞은 온도를 자연적으로 유지하고, 젖을 버리지 않고 많이 먹일 수도 있고, 적게 먹일 수도 있습니다. 모유는 장내에서 비타민이나 영양소를 흡수하는데 더 효과적인 유산균 같은 몸에 이로운 장내세균들을 많이 자라게 해 줍니다.

분만후 일주일까지 나오는 젖을 초유라고 합니다

초유는 풍부한 영양과 면역물질이 많아 질병의 예방에 도움이 됩니다. 처음 2~3일은 젖이 잘 안 나오는 수가 많습니다. 아이는 보채고 젖이 잘 안 나오면 어머니는 마음이 조급해지고 걱정이 되어 젖은 점점 더 나오지 않게 됩니다. 그러면 어머니는 자처서 모유로 기르는 것을 포기하고, 우유로 바꿔버리는 수가 많은데, 이 고비를 참고 견디어 젖을 계속 빨리면, 유선이 발달되어 젖이 잘 나오게 됩니다. 젖을 잘 나오게 하려면 어머니의 충분한 영양과 휴식이 절대 필요합니다. 그러나 정신적 쇼크는 젖의 분비를 저하시키므로 어머니는 항상 마음을 밝고 편안하게 가지는 것이 좋습니다. 젖먹이는 간격은 2~4시간마다 아기가 배고픔을 느낄 때 먹이시고 2시간도 되지 않았는데 먹으려고 하면 보리차를 주세요. 시간이 되었다고 자고 있는 아이를 깨워서無理하게 먹이는 것 보다도 아기가 배고픔을 느낄 때마다 아기의 요구에 의해 충분히 먹이는 것이 좋습니다. 시간이 경과함에 따라 아기는 스스로 리듬을 찾아 규칙적으로 먹게 되며 백일이 지나면 밤에는 한번 걸르게 되어 8시간 만에 먹게 됩니다. 젖을 충분히 먹인 후 5~10분쯤 아기를 세워 안고 등을 쓰다듬어서 위속의 공기가 트림으로 나오게 합니다. 신생아의 위는 수평으로 되어 있어서 토하기가 쉬운데다 트림을 시키지 않으면 우유를 먹일 때 마신 공기가 나오면서 애써 먹은 우유를 다 토하게 되기 때문에 생후 6개월까지는 꼭 트림을 시켜야 합니다.

아기에게 젖을 먹일 때는

- 어머니의 손을 비누로 씻고, 젖꼭지는 소독면으로 닦아서 깨끗이 한 다음, 꼭 아기를 안고 먹이도록 하십시오.
- 젖꼭지를 물릴 때는 젖꼭지의 끝만이 아니라, 둘레의 검은 부분까지 깊게 물려 주세요. 그리고, 유방이 아기의 코를 막는 일이 없도록 손가락으로 누르고 빨기 쉽도록 해 주십시오.
- 젖이 너무 많이 나와 아기가 사레 들러 먹기 힘들 때가 있습니다. 또 젖꼭지를 물기 어려운 경우도 있습니다. 이런 경우에는 처음에 젖을 조금 짤 후 먹여보십시오.
- 밤중에 젖을 먹일 때 누운채 젖을 먹이다 보면 가끔 어머니가 그대로 잠이 드는 경우가 있습니다. 이때 유방이 아기의 코나 입을 막는 경우 위험합니다. 귀찮더라도 꼭 일어나 앉아서 아기를 안고 먹이도록 하십시오.

어머니 젖을 잘 나오게 하려면

- 젖을 빨리는 것이 젖의 분비를 자극시키는데 가장 좋은 방법입니다. 젖을 빨릴 때 한번에 한쪽씩 교대해서 완전히 빨립니다. 젖을 빼는 시간은 한번에 20분이면 충분합니다.
- 단백질, 비타민, 무기질 등이 풍부한 식사를 하여 칼로리는 평소보다 500 칼로리를 더 섭취하고, 수분은 3ℓ 정도가 되게 국, 우유나 보리차 등을 많이 마셔야 합니다.
- 어머니는 과로를 피하고 불안이나 공포가 없는 평온한 마음을 가져야 합니다.

이럴 때는 모유 부족인지도 모릅니다

- 생후 1개월 때까지는 모유가 조금 부족하다 하더라도 서둘러 우유를 보충할 필요는 없습니다. 그러나 1개월이 지나서도 아래와 같은 현상이 있으면 모유 부족이라고 생각해도 좋겠지요.
- 20분 이상 지나도 젖을 놓지 않으며, 억지로 빼면 울 때
 - 다 먹고 언제나 인량은 울음을 울 때
 - 매회 먹고난지 1~2시간도 지나지 않았는데 젖을 달라고 보낼 때
 - 어머니의 젖이 불지 않을 때
 - 체중이 정상적으로 증가하지 못할 때 (정상에서는 하루에 20~30g이 증가합니다.)

- 대변 횟수가 적을 때
이럴 때는 모유가 부족한 경우이므로 조제분유로 보충해 주는 혼합영양을 하는 것이 좋습니다. 또한 매번 모유를 먹인 후 조제분유를 더 먹이거나 모유와 우유를 교대로 먹이는 방법이 있습니다.

모유를 먹일 수 없을 때

- 엄마에게 원인이 있는 경우
 - 병으로 인하여 수유를 못할 경우
 - 영양 실조
 - 젖꼭지의 형태 이상(함몰이나 편평한 젖꼭지) 영양부족
 - 엄마의 장시간 외출(출근)
- 아기에게 원인이 있는 경우
 - 허약하여 빼는 힘이 약할 때(미숙아)
 - 아기의 입속에 이상이 있을 때(인청이, 구개파열)
 - 매우 드물지만 모유에 대한 과민증이 있을 때
 - 모유로 말미암아 황달이 생기는 아기
이와 같은 경우는 조제분유로 인공 영양을 시킵니다. 물론 자연적인 아기 양육 방법은 모유를 먹이는 것입니다. 그러나 만일 어떤 충분한 이유가 있어 모유를 먹이지 못하더라도 걱정할 필요가 없습니다. 중요한 점은 모유를 먹일 때와 똑같이 아기를 다루어야 한다는 것입니다. 그리고 충분한 수유시간을 갖고 모유를 먹일 때와 비슷한 환경을 만들어 주어야 합니다. 우유를 먹일 때 처음에는 젖병속의 공기의 작용으로 우유가 쭉 흘러 나오므로 사레가 들기 쉬우니 젖병을 거꾸로 하여 1초에 3방울 정도로 떨어지게 되면 먹이세요. 모유를 먹일 때와 같이 아기를 45° 각도로 안고서 아기도, 엄마도 가장 편안한 자세에서 사랑스럽고 즐거운 표정으로 천천히 20분동안 먹이되 젖병에 남은 공기를 빨지 않도록 젖병을 45° 이상으로 세워서 먹여야 합니다. 젖병을 누워서 먹이면 공기를 많이 마시게 되어 토하기 쉽고 배가 아파서 울게 됩니다. 먹인 다음에는 일으켜 안고 등을 쓰다듬어 트림을 시켜주어야 합니다. 먹다 남은 우유는 엄마가 먹든지, 아니면 버리고 물로 행워서 깨끗하게 두었다가 3~4개의 젖병이 모이면 한번에 소독을 해야 합니다.

우유병 소독 방법

1. 먹다 남긴 우유는 바로바로 버려야 합니다. 오래 되면 짙은 때가 우유병에 끼게 되어 닦기 어렵게 되며 병균이 증식합니다.
2. 그릇 세척제(퐁퐁, 방글방글 등)을 사용하여 젓병과 젓꼭지를 병솔과 수세미로 말끔히 닦습니다.
3. 비누기가 없을 때까지 맑은 물로 잘 헹굽니다.
4. 소독기에 넣어 끓기 시작한 후 적어도 15~20분간 끓이며 젓꼭지는 5분간만 끓입니다.
5. 소독된 집게로 젓병과 젓꼭지를 소독기에서 꺼냅니다.
6. 젓꼭지에 손이 안 닿도록 주의하며 반드시 젓병에 끼우고 뚜껑을 덮어 두십시오.
7. 젓병과 젓꼭지는 여러개를 사용하여 소독하는 번거로움과 시간을 아깝시다.
8. 젓병은 잘 닦이고 위생적이며 열에 잘 견디는 두꺼운 유리나 투명하고 두꺼운 플라스틱 제품이 좋으며 입구가 넓고 각이 진 것이 사용하기 편합니다.

우유를 타는 방법

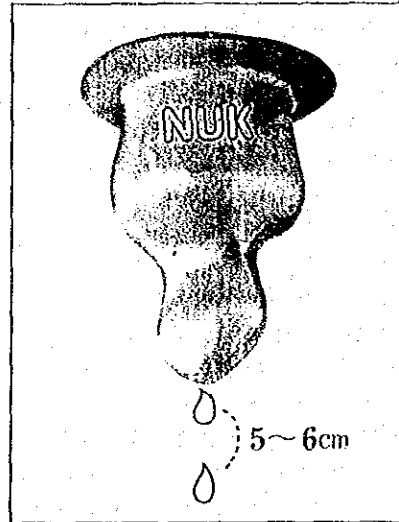
- 소독된 병에 적량의 분유를 넣는다.
- 10분 이상 끓인 물을 38~50°C로 식혀서 아기의 계산에 맞는 양을 넣은 다음 젓꼭지를 꼭 끼우고 흔든다.
- 온도는 38°C 전후가 이상적이며 젓병을 거꾸로 하여 손등에 한 방울 떨어뜨려 따뜻한 정도면 됩니다.
- 어머니가 먼저 빨아보는 것은 좋지 못합니다.

분유 보관 방법

분유통을 한번 연 후에는 건조하고 시원한 곳에 깨끗이 잘 보관하여 분유가 변질되지 않도록 주의해야 합니다.

고무젓꼭지 구멍 뚫는 법

바늘이나 옷핀에 불을 달구어서 2~3개의 구멍을 뚫어 젓병을 거꾸로 세웠을 때 우유방울이 5~6cm간격으로 똑똑 떨어지는 정도면 좋습니다. 우유가 흘러내리거나 너무 빨리 떨어지면 아기가 우유를 미처 삼키지 못하여 사레가 들리기 쉽습니다.



올바른 목욕법

많은 젊은 엄마들은 아기들을 씻기거나 목욕시킬 때 혹시 감기가 들지 않을까 염려합니다. 이런 염려를 피하기 위해서는 5분이상 아기가 추위를 느끼게 하지 않아야 합니다.

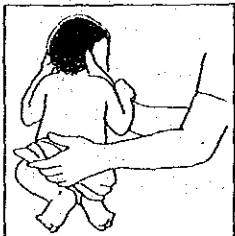
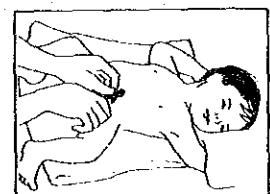
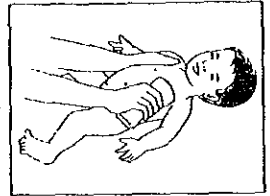
1. 바람을 막기 위하여 창문과 방문을 닫고 실내온도를 20~24°C로 유지시켜 줍니다.
2. 목욕대야, 따뜻한 물주전자, 찬물 주전자, 중성 유아용 비누, 목욕타올 대, 중, 소 각 1개씩, 복대, 제대소독약, 면봉을 준비하고 큰 목욕수건을 목욕통 옆에 펼쳐 놓습니다.
3. 따뜻하게 준비한 깨끗한 아기 옷, 기저귀, 덮개와 이불을 미리 준비합니다.

아기배꼽 부위가 다 낫지 않았을 때

무엇보다 경험을 쌓아야 합니다. 인제까지나 조산부나 할머니에게 의지 한다든가 남편이 도와 주기를 바라는 것은 좀 생각해 볼 일입니다. 자신이 혼자서 해 봅시다.

1. 두개의 물 대야를 따로따로 준비합니다. 하나는 몸을 씻기 위해, 다른 하나는 머리를 씻기 위해 사용합니다. 먼저 대야에 찬 물을 조금 부은 다음 따뜻한 물을 알맞은 온도(약 38~40°C)로 섞는데 이때 온도계로 측정해도 좋고 팔꿈치를 넣어서 따뜻한 정도면 됩니다. 겨울은 40°C에 가깝게, 여름은 38°C에 가깝게 조절하십시오. 얼굴을 닦는 가재수건에 깨끗한 물을 적셔서 찬 후 아기의 눈, 입, 코, 귀 주위의 순서로 닦아줍니다.
2. 옷을 입은 다음 머리를 씻기는데, 왼쪽 엄지손가락과 세째 손가락으로 양쪽 귀를 막습니다. 비누거품을 내어 오른쪽 손바닥으로 머리를 문지르듯이 씻고 세면기에 담아둔 따뜻한 물로 헹굽니다. 아기의 두피는 연약하므로 너무 박박 문지르면 안됩니다.
3. 아기의 옷을 벗기고 축축한 비눗물이 적서진 휴지나 베이비 오일을 문힌 화장지로 아기 엉덩이 부분을 먼저 씻겨 줍니다.

4. 옷을 벗기고 그 위에 눕힌 후 몸을 닦아주는 천으로 목, 팔, 가슴, 배 부분을 가볍게 비누칠 해 닦아주되, 배꼽부위는 절대 비누칠을 하지 않도록 주의하십시오. 그리고 나서 아이를 돌려 눕힌다음 목과 등, 계속해서 부분도 비누칠을 해 닦아줍니다. 이렇게 하면 몸을 돌리는 일도 물 속에서 하기 보다 쉽습니다. 손이 미끄러워도 떨어 뜨릴 염려가 없습니다.
5. 배꼽에 물이 닿지 않을 정도로 채운 목욕통에 아기의 몸을 따뜻한 물 속에 안히듯이 하고 한쪽 손으로 목에서 귀 근처까지 받치고 한쪽 손은 작은 수건으로 아기 몸의 비누를 완전히 씻어 냅니다.
6. 물에서 꺼낼 때는 그림과 같이 왼팔로 머리를 받치면서 아기의 양손을 잡고 오른손으로 허벅다리과 엉덩이를 받칩니다.
7. 미리 준비해 둔 마른 목욕수건 위에 눕히고 수건으로 문지르지 말고 눌러서 물기나 땀을 닦습니다. (생후 6주일이 지나야 좀 더 강하게 문질러 줄 수 있습니다). 베이비 파우더를 분침에 묻혀 목, 겨드랑이, 서혜부, 오금등에 가볍게 눌러줍니다. 이때 파우더가 흩날리지 않도록 주의합니다.
8. 배꼽은 소독용 에틸 알콜로 닦고 소독거즈를 태고 옷을 입히고 기저귀를 채웁니다. 여름이라면 조금 벗겨 주십시오.
9. 깨끗한 가재 수건으로 좌우의 눈을 안에서 밖으로 향해 닦습니다. 입 주위를 닦습니다. 부드러운 면봉이나 나선형으로 말려진 솜을 사용해 콧구멍, 콧구멍, 귀뒤의 주름, 귀바퀴 등을 닦아주고 머리를 빗겨 줍니다. 이것으로 아기의 목욕은 끝납니다. 머리를 감기 시작해서 소요시간은 선생아가라면 5분입니다. 오래 걸린다고 해도 10분 이내에는 끝나야 합니다.



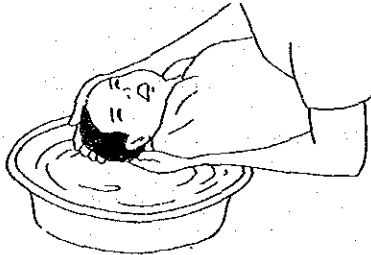
아기의 배꼽 부위가 다 나았을 때

가장 좋은 목욕시간은 두번째 수유전인 오전 9시반 경이나 네번째 수유전인 오후 경이 좋으며 이때에도 역시 목욕시키는 시간은 5분을 넘지 않아야 합니다. 다음과 같은 순서를 추천해 드립니다.

1. 목욕수건을 따뜻하게 덥혀 놓고, 내의·상의 및 새로운 기저귀를 준비합니다.
2. 옷을 입힌 채로 아기를 부드러운 수건으로 눈, 입, 코, 귀 주위의 순서로 얼굴을 깨끗이 닦습니다.



3. 유아용 비누나 샴푸를 손에다 거품을 내어 아기의 머리를 깨끗이 씻어줍니다.



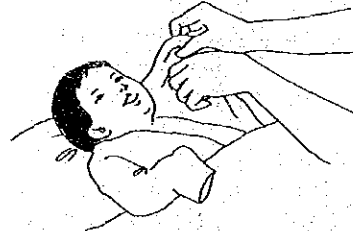
4. 아기 옷을 벗긴 후 아기를 목욕통에 담그고 비누칠 하여 가슴, 겨드랑이, 팔, 손, 사타구니, 다리, 발을 깨끗이 씻습니다. 잘대로 얼굴과 귀를 물속에 완전히 담궜서는 안됩니다.



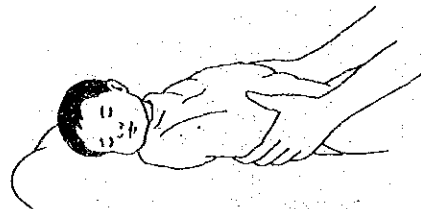
5. 아기를 돌려 등을 깨끗이 씻습니다.



6. 원필로 머리를 받치면서 아기의 얼굴을 잡고 오른손으로 허벅다리 및 엉덩이를 받치면서 물에서 끼냅니다. 따뜻하게 덥혀진 목욕수건으로 감아줍니다. 물기를 닦아 줍니다. 피부의 모든 주름과 겨드랑이, 사해부, 오금, 귀 뒤의 주름진 곳, 깃 바퀴 등은 특히 완전하게 물기를 제거하고 파우더를 가볍게 눌러줍니다.



7. 미리 준비해 둔 편안하고 부드러운 옷을 입혀주고 기저귀를 채웁니다.
8. 두팔을 펴서 가벼운 포에 싸입니다.

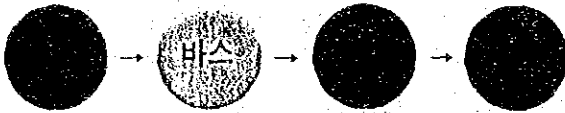


9. 콧구멍과 귀를 면봉으로 닦아주고 머리를 빗겨주고 편안한 자세로 안은 후 따뜻한 보리차물을 먹입니다.
10. 목욕 후 곧히 잠들 때 손톱이나 발톱이 길면 깎아줍니다.

목욕시 아기를 올바르게 잡는 방법

목욕을 시킬 때 특히 중요한 것은 아기가 미끄러지지 않도록 안전하게 잡는 것입니다.

- 배를 아래로 하고 앉드려 있는 상태에서는 엄마의 팔과 손목이 아기의 겨드랑이, 목, 턱을 받쳐 주어야 합니다.
- 엄마의 왼손은 아기의 목뒤를 돌아 어깨부위를 감싸야 합니다.
- 물에서 꺼낼 때는 왼팔로 머리를 받치면서 아기의 양손을 잡고 오른손으로 허벅다리과 엉덩이를 받칩니다.



머리에서 발끝까지 이렇게 당신의 아기를 씻기세요

●머리카락

처음에는 매일 목욕을 시킬 때 아기의 머리카락도 함께 씻어줍니다. 아기의 머리카락을 올바르게 보살펴 주기 위해서는 부드러운 유아용 샴푸를 사용하는게 좋습니다. 샴푸를 씻어낼 때는 아기가 위를 바라보게 하여 눈과 입에 거품이 들어가지 않도록 해야 합니다.

●코

조심스럽게 면봉을 사용하여 코딱지를 없애 줄 수 있습니다. 면봉을 콧구멍 속으로 집어 넣되 직경이 0.5cm 이하가 되도록 하십시오! 그렇지 않으면 코딱지가 위로 올라갈 염려가 있습니다. 생후 1개월까지는 아기들이 재채기를 크게 하므로써 대부분 콧 속을 깨끗이 할 수 있기 때문에 단지 콧구멍의 입구만을 깨끗이 해 주는 것으로 충분합니다.

●귀

목욕을 시킨 후에는 귓바퀴와 귓구멍 입구를 부드러운 천으로 조심스럽게 두드려 닦아 내도록 하십시오. 귓구멍도 역시 면봉으로 입구만 깨끗이 해 주십시오! 귀 뒤의 피부 주름은 베이비 파우더를 조심스럽게 발라주세요. 베이비 파우더의 분말을 아기가 많이 들어 마시면 폐염을 일으킬 수 있습니다. 그러나 조심스럽게 발라주세요.

●피부

아기의 피부는 아주 연약하기 때문에 조심스런 보살핌이 필요합니다. 매번 목욕이 끝난 후에는 피부와 피부가 맞닿는 아기의 모든 신체부위에 파우더를 발라주세요. 목과 관절의 피부가 겹치는 곳, 겨드랑이, 서혜부와 오금, 그리고 발가락 사이에는 베이비 파우더를 발라주세요.

●생식기

대변을 닦을 때는 언제나 앞에서 항문 쪽으로 닦아 주어야 대장균에 의한 감염을 막을 수가 있습니다.

●손톱과 발톱

아기는 자기 손톱으로 얼굴을 잘 핏칩니다. 상처가 나지 않도록 언제나 규칙적으로 손톱을 짧게 깎아주는 것이 좋습니다. 손톱은 약간 둥글게 깎아 주어 모서리 끝이 날카롭지 않아야 아기가 얼굴을 핏치지 않으며 발톱은 언제나 곧게 깎아 줍니다.

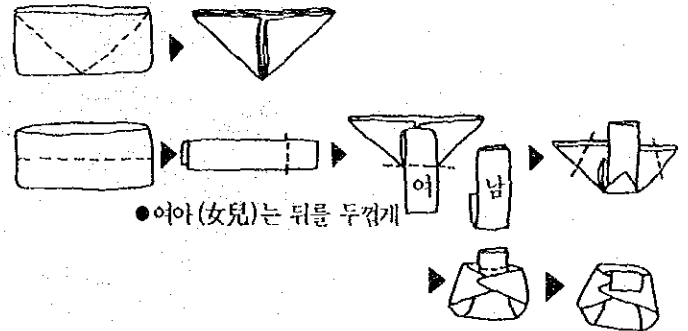
기저귀 채우는 법

신생아는 오줌은 하루에 10회 정도 대변은 2~3회 누지만 아기에 따라 차이가 있으며 기저귀는 30장 가량 준비하는 것이 좋습니다.

팬을 사용하는 경우에는 찢리는 일이 없도록 주의해야 하며 고무줄을 사용하는 경우에는 고무줄이 너무 팽팽하면 피의 순환이 좋지 않고 배꼽 위로 매면 신생아는 배로 숨을 쉬므로 숨 쉬는데 지장이 있습니다.

기저귀 접는 방법

●정방형(正方形)의 기저귀



●여아(女兒)는 뒤를 두겹게

기저귀의 세탁

오줌에 젖은 기저귀는 물에 담가 두고, 변이 묻은 기저귀는 비눗물에 담가두었다가 빨도록 합니다. 제일 좋은 방법은 비눗물에 5분 가량 끓인 다음, 깨끗한 물에 여러 번 헹구어서 비눗물이 깨끗이 빠지도록 합니다. 신생아는 피부가 예민하기 때문에, 비눗기가 남아 있지 않도록 깨끗이 씻겨야 합니다.

기저귀를 일일이 삶아서 빨기 어려울 때에는, 비눗물에 먼저 씻은 다음 깨끗한 물에 헹구어서 비눗물을 씻어 버리도록 합니다. 그러나 기저귀를 가끔 끓는 물에 삶아서 빨지 않으면, 균이 성하고 오줌에서 암모니아가 생겨, 기저귀를 채운 피부에 피부염을 일으키는 수가 있습니다. 따라서 피부병이 있을 때에는 기저귀를 끓여서 균을 죽이도록 하여야 합니다. 햇볕에 쬐이는 것도 균을 죽이는데 효과가 있으므로 기저귀를 빨 다음에는 햇볕에 말리도록 합니다.

일광욕을 시킵시다

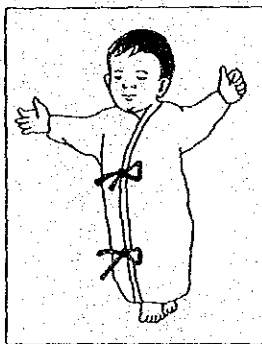
- 햇빛속의 자외선은 우리 몸에서 비타민 D를 만들어 뼈가 튼튼히 자라게 합니다. 자외선은 유리를 통과하지 못하므로 직사광선을 쬐어야 합니다.
- 일광욕은 만 3개월부터 실시합니다.
- 머리나 얼굴은 그늘이나 모자를 이용하여 햇빛을 쬐이지 않습니다.
- 겨울에는 감기에 걸리지 않도록 주의하며 처음에는 3분 정도로 시작하여 무릎

아래는 5분간 실시합니다. 각 단계를 3~4일 정도 실시한 후 다음 단계로 넘어가는 것이 좋습니다.

- 무더운 여름이나 아기 몸이 불편할 때는 쉬며 끈기 있게 합니다.
- 손바닥 마찰 - 아기 전신을 깨끗한 손으로 손, 발, 허리 등을 심장이 있는 방향으로 가볍게 10회 정도 문지릅니다.

● 일광욕의 실시 방법

	햇빛을 쬐이는 부분	쬐이는 시간	계속하는 시간
1 단계	발	3분 가량	3~4일
2 단계	무릎부터 아래	3~5분	"
3 단계	다리 전체	3~5분	"
4 단계	배부터 아래	3~5분	"
5 단계	가슴부터 아래	3~5분	"
6 단계	목부터 아래	3~5분	"
7 단계	목부터 아래와 등	5~10분	"
8 단계	"	10~20분	"
9 단계	"	20~30분	이대로 계속



3분 (3일간)



5분 (3일간)



5분 (3일간)



5분 (3일간)



5분 (3일간)



10분

